助詞類

第1課 くらい・ばかり・ほど

ステップ1…… おおよその量や程度、時点を表す

「**くらい**」「**ばかり**」「**ほど**」は、数量や時間などを表す語に付いて、おおよその量や程度を表します（例1～3）。「**くらい**」は「**ぐらい**」と発音することもあります。ある時点を表す言葉に付いて、だいたいそのころという意味を表す場合は、「**くらい**」しか使えません（例4～6）。

「**ばかり**」は名詞や動詞のあとに付いて、その名詞や動詞が表す状態が目立つ、それ以外の物事が話し手の認識に上らないという意味も表します。この場合、「**くらい**」「**ほど**」は使えません（例7、8）。

〔くらい〕〔ばかり〕〔ほど〕接在表示数量、时间等词的后面，用来说明大致的数量、程度（例1～3）。在发音的时候，有时把〔くらい〕说成〔ぐらい〕。但是，接在表示时间的词的后面，表示“大约在此时间前后”的场合，只能用〔くらい〕（例4～6）。

〔ばかり〕还有一个用法是接在名词或动词的后面，表示所处的状态非常明显，除此之外没有其他事物能够引起说话人的注意。〔くらい〕〔ほど〕没有这种用法（例7、8）。

●例文……

1. 駅から郵便局まで、歩いて10分**くらい／ほど／ばかり**かかります。
2. 1週間に2回**くらい／ほど／ばかり**図書館に行きます。
3. 体育館には10人**くらい／ほど／ばかり**の学生がいました。

4. 3月終わり**くらい**には返事をください。〈誤：ばかり、ほど〉
5. 家に着いたのは6時**くらい**だったと思います。〈誤：ばかり、ほど〉
6. 明日**くらい**からそろそろ試験勉強を始めようと思います。〈誤：ばかり、ほど〉
7. 飛行機の窓から見えるのは、雲**ばかり**でした。〈誤：くらい、ほど〉
8. 研究会では周りの人から教わる**ばかり**で、何も意見を言うことができませんでした。〈誤：くらい、ほど〉

ステップ2…… 基準を表す「くらい」「ほど」

1. 同程度の基準を表す「くらい」「ほど」

「**くらい**」「**ほど**」には、名詞や文のあとに付いて、同程度の基準としてある具体的な例を示す用法があります。この場合、その名詞や文が表している大きさや程度が、「**くらい**」「**ほど**」のあとに来る物事の大きさや程度とだいたい同じであることを表します（例9～13）。また、「**くらい**」は「と同じくらい」の形で慣用的に使うこともあります（例14）。この場合、「**ほど**」は使えません。

〔くらい〕〔ほど〕还可以接在名词或句子的后面，作为具体例子来说明程度相同的基准。表示要说明对象的大小、程度和出现在〔くらい〕〔ほど〕前面的事物的大小、程度相同（例9～13）。此外，〔くらい〕有〔と同じくらい〕形式的习惯用法（例14）。〔ほど〕没有这种习惯用法。

●例文

9. こぶし**くらい／ほど**の石が飛んできました。
10. ズボンにピンポン玉**くらい／ほど**の穴があいてしまいました。
11. バスだとタクシーの2倍**くらい／ほど**の時間がかかります。
12. 棚から物が落ちる**くらい／ほど**大きな地震でした。
13. 風がひどくて、息ができない**くらい／ほど**でした。
14. 王さんは劉さんと同じ**くらい**の身長です。〈誤：ほど〉

2. 上限を表す「くらい」「ほど」

「A **くらい／ほど** B はない」という形で、A が最も B であるということを表します。B には名詞が来ます。例 15 は東京が最も住みにくい場所である、例 16 は李さんが最もまじめな人であるという意味になります。

〔A くらい／ほど B はない〕的意思是“A 最 B”。这里的 B 必须用名词。如例 15 是说东京是最难生活的地方，例 16 是说小李是最认真的人。

●例文

15. 東京**くらい／ほど**住みにくい所はありません。
16. 李さん**くらい／ほど**まじめな人はいません。

3. 置き換えられない「くらい」「ほど」

「**ほど**」は「A は B **ほど** C ない」という形で比較を表します。B を基準として、「A は B に近いが、B 以下である」ことを表します。C には形容詞や形容動詞が来ます。この場合、「**くらい**」には置き換えられません。例 17 は昨日の暑さ(B)を基準として、今日の暑さ

(A) は昨日の暑さ (B) 以下である、例 18 は李さんのまじめさ (B) を基準とし、金さんのまじめさ (A) は李さんのまじめさ(B)を下回るという意味になります。

一方、「**くらい**」には、A という例を最低限の基準として示す用法があります (例 19、20)。A の内容がたいしたことではないという軽視の気持ちを表します。他人を非難するような印象を与えることもあるので、使い方には注意が必要です。この場合、「**ほど**」に置き換えることはできません。

〔ほど〕可以用〔A は B ほど C ない〕的形式来表示比较。这里的 B 为比较的基准, A 虽然接近 B, 但在 B 之下。C 必须是形容词或形容动词。这种场合不能用〔くらい〕来替换。如例 17 是把昨天的热的程度 (B) 作为比较基准, 今天的热的程度 (A) 在昨天的热的程度 (B) 之下。例 18 是把小李的认真程度 (B) 作为基准, 小金的认真程度 (A) 在小李的认真程度 (B) 之下。

〔くらい〕还有一种用法是把A作为最低标准列举出来(例 19、20)。这种用法含有认为 A 所显示的内容没有什么了不起的轻视心理。有时给人的印象是在责备别人, 使用的时候要加以注意。这种场合不能用〔ほど〕来替换。

●例文

17. 今日は昨日**ほど**暑くありません。〈誤：くらい〉
18. 金さんは李さん**ほど**まじめではありません。〈誤：くらい〉
19. 自転車のパンクを修理すること**ぐらい**、朝飯前〔あさめしまえ／小事一桩〕です。〈誤：ほど〉
20. カレーライスの作り方**くらい**、中学生でも知っています。〈誤：ほど〉

練習問題

〈ステップ1〉 正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 山田さんは3時 {a. くらい b. ほど c. ばかり} に来ます。
2. 東京駅から新宿駅まで電車で15分{a. くらい b. ほど c. ばかり}かかります。
3. その子はただ泣く {a. くらい b. ほど c. ばかり} で何も言いません。
4. 箱の中にみかんが20個 {a. くらい b. ほど c. ばかり} 入っています。
5. 今日出した手紙は、金曜日 {a. くらい b. ほど c. ばかり} には届くでしょう。
6. 彼は遊んで {a. くらい b. ほど c. ばかり} いて、勉強しません。
7. うちの息子はテレビゲーム {a. くらい b. ほど c. ばかり} していて、全然勉強しません。
8. 日本に手紙が届くには1週間 {a. くらい b. ほど c. ばかり} かかります。
9. 肉 {a. くらい b. ほど c. ばかり} 食べて野菜を食べないのは体に悪いです。
10. 1ヵ月 {a. くらい b. ほど c. ばかり} たったら、もう一度検査に来てください。

〈ステップ2〉 正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. もう1歩も歩けない {a. くらい b. ほど c. ばかり} 疲れました。
2. 日本語の単語を五つ覚える {a. くらい b. ほど c. ばかり} 簡単です。
3. クマ {a. くらい b. ほど c. ばかり} の大きさの犬がいて、驚きました。
4. 東京は北海道 {a. くらい b. ほど c. ばかり} 寒くありません。
5. 王さん {a. くらい b. ほど c. ばかり} よく勉強する人はいません。
6. そんな簡単なこと {a. くらい b. ほど c. ばかり} 小学生でも知っています。
7. 李さんと王さんは隣の部屋にまで聞こえる {a. くらい b. ほど c. ばかり} 大きな声で話しています。
8. 梅雨〔つゆ〕の季節に込んでいるバスに乗ること {a. くらい b. ほど c. ばかり} いやなことはありません。
9. 私は王さん {a. くらい b. ほど c. ばかり} 歌が上手ではありません。
10. 車の運転 {a. くらい b. ほど c. ばかり}、誰でもできるようになりますよ。

第2課　さえ(も)・でも・まで(も)

ステップ1…… 例を挙げて強調する用法

1. 極端な例を挙げて程度が大きいことを強調する「さえ（も）・でも・まで（も）」

「**さえ**」「**でも**」「**まで**」は名詞などに付き、その名詞が表す事柄を極端な例として挙げることにより、程度が大きい様子を強調します。「**まで**」は「**までも**」、「**さえ**」は「**さえも**」「**でさえ**」となることがあります。場所や時間、手段などを限定して強調する場合や主語を限定して強調する場合は、「**でさえ**」を使うことが多いです。

到達点や対象を限定して強調する場合は、「**でも**」が使えないことが多いです（例4、5）。

〔さえ〕〔でも〕〔まで〕接在名词之后，把该名词所表达的事物作为极端的例子，来强调程度之大。〔まで〕有时可以用〔までも〕，〔さえ〕有时可以用〔さえも〕、〔でさえ〕的形式。对场所以及时间、手段等进行限定强调的场合或对主语进行限定强调的场合，一般使用〔でさえ〕。

对到达点或对象进行限定强调的场合，一般不用〔でも〕（例4、5）。

●例文……

1. 最近は、中学生（**で**）**さえ／でも／まで**（**も**）携帯電話を使っています。
2. コンビニはお正月（**で**）**さえ／でも／まで**（**も**）営業しています。
3. 最近忙しいので、日曜日（**で**）**さえ／でも／まで**（**も**）会社に行くことが多いです。

4. 登山の好きな王さんはエベレストに**さえ（も）**／**まで（も）**登ったことがあるそうです。〈誤：でも〉
5. 裁縫〔さいほう〕の得意な劉さんはウエディングドレス**さえ（も）**／**まで（も）**作ってしまいました。〈誤：でも〉

2. 及ぶ範囲の極限を提示して驚きを表す「まで」

「**まで**」はもともと到達点を表す助詞ですが、「～から～**まで**」という形で範囲を表します（例6）。多くの場合、その範囲の極限を示すことで話し手の驚きの気持ちを表します（例7～9）。

〔まで〕本来是表示到达点的助词，一般用〔～から～まで〕的形式表示范围（例6）。大多场合用来举出该范围内的极限例子以表达说话人惊讶的心理（例7～9）。

●例文

6. このビデオは操作が簡単です。子供からお年寄り**まで**使うことができます。〈誤：さえ、でも〉
7. 李さんはなんとポルトガル語**まで**話せるそうです。〈誤：さえ、でも〉
8. 家族だけでなく隣のうちに**まで**、お土産〔みやげ〕を買いました。〈誤：さえ、でも〉
9. 家の中だけでなく玄関**まで**、きれいに掃除しました。〈誤：さえ、でも〉

3. 一定の基準を挙げて程度を強調する「さえ」「でも」

「**さえ**」「**でも**」は、例を挙げて能力的または条件的極限であることを強調します。否定形とともに使って最低限のことを対象として示す場合、「**でも**」はほとんど使えません（例15～17）。

〔さえ〕〔でも〕用来列举实际的事例，以强调能力、条件的极限。后面接续否定形表示最低限的场合下，一般不能使用〔でも〕（例 15 ～ 17）。

●例文

10. こんな簡単な問題は子供（で）**さえ**／**でも**答えられます。〈誤：まで〉
11. 男（で）**さえ**／**でも**持てない荷物を彼女は軽々と持った。〈誤：まで〉
12. 日曜日（で）**さえ**／**でも**休めないような会社では働きたくありません。〈誤：まで〉
13. 自転車（で）**さえ**／**でも** 1 時間かかるのだから、歩いたら大変です。〈誤:まで〉
14. 彼は仕事（で）**さえ**／**でも**あまりしゃべらないのに、家でよくしゃべるわけがありません。〈誤：まで〉
15. 彼は電気**さえ**ないような山の中で暮らしています。〈誤：でも、まで〉
16. 100 点満点はもちろん、合格点の 60 点**さえ**取ったことがありません。〈誤：でも、まで〉
17. 旅行に行けないどころか、家賃**さえ**払えません。〈誤：でも、まで〉

ステップ 2…… 不特定の例や仮の例を挙げる「でも」

1. 不特定の例ですべてを強調する「でも」

「**でも**」は「誰／いつ／どこ／何／どれ」など不特定の物事を表す語に付いて、同類のものすべてについてあてはまることを強調します。

〔でも〕可以接在〔誰／いつ／どこ／何／どれ〕等表示不特定的事物的词后面，强调可以适用于所有同类。

●例文

18. 市立図書館は誰**でも**利用できます。
19. ここにある本はどれ**でも**2週間借りられます。
20. 〈レストランで〉なん**でも**食べたい物を頼んでいいですよ。

2. 仮の例を挙げる「でも」

「**でも**」は、意志、誘い、推量、命令などを表す表現とともに使うと、仮に一つの例を挙げて、ほかに同じようなものがあればそれでもいいという気持ちを表します。

〔でも〕可以与表示意志、劝诱、推测、命令等词句一同使用，列举一个假定的例子，表示也适用于其他类似的事物。

●例文

21. ああ、疲れた。早く帰ってビール**でも**飲もう。
22. 大勢〔おおぜい〕の人が集まっています。何か事故**でも**あったのでしょうか。
23. 〈子供に〉あっちに行って、テレビ**でも**見ていなさい。
24. お茶**でも**飲みませんか。

ステップ3…… その他の用法

1. 本来の目標を挙げて最低到達点を強調する「まで」

「**まで**」は動詞の否定形に付いて、「A ない**までも** B」の形で「たとえ A でなくても、せめて B」という意味を表します。例25、26の本来の目標は「結婚式に出席すること」「中国語を話すこと」です。そこまではできないが、一段低いレベルの「お祝いすること」「中国語

を聞き取ること」はできるという意味です。

〔まで〕接在动词的否定形式之后，用〔 A ないまでも B〕的形式表示“即使达不到 A，至少达到 B”的意思。例 25、26 中，本来应该达到的目标是“出席结婚典礼”“说汉语”。这里表示虽然达不到本来的目标，但可以达到低于该目标一等的水平，即“送贺礼”“听懂汉语”。

●例文

25. 友達の結婚式なら、出席しない**までも**お祝いぐらいは贈るべきです。
26. 中国で半年間生活しました。中国語は、上手に話せない**までも**、少しは聞き取れるようになりました。

2. 唯一欠けている条件を強調する「さえ」

「**さえ**」は仮定条件を表す「～ば」とともに使い、その条件が成立すれば、それだけで十分であることを強調する時に使います。動詞に付く時は「ます形＋**さえ**＋すれば」の形になります（例 27、28）。形容詞に付く時は「～く＋**さえ**＋あれば」の形になります（例 29）。

〔さえ〕可以与表示假定条件的〔～ば〕一同使用，强调只要具备该条件就足够了的意思。与动词一起使用时，用〔ます形＋さえ＋すれば〕的形式（例 27、28）。与形容词一起使用的时候用〔～く＋さえ＋あれば〕的形式（例 29）。

●例文

27. あとは漢字の勉強を し**さえ**すれば、明日の試験は万全〔ばんぜん〕です。
28. もう少し熱心に働き**さえ**すれば、本当にいい人なんですがね。

29. 便利な機械ですから、値段が安く**さえ**あれば、もっと売れるはずです。

3. 条件を強める「でも」

「**でも**」は条件を表す句の中で使うと、その条件を強める働きがあります。動詞に付く時は「ます形＋**でも**＋したら」の形になります（例30）。

〔でも〕如果用在表示条件的句子中，可以起到对该条件进行强调的作用。接在动词后面的时候用〔ます形＋でも＋したら〕的形式（例30）。

●例文

30. ここには高圧電流が流れています。触り**でも**したら大変です。
31. そんな重い荷物を一人で持つなんて、腰**でも**痛めたらどうしますか。

練習問題

〈ステップ1・2〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. この料理は簡単だから、料理が苦手な人 {a. でさえ　b. でも　c. まで} 作れます。
2. 困ったことがあったら、いつ {a. さえ　b. でも　c. まで} 私に相談してください。
3. 王さんはどんな人と {a. さえ　b. でも　c. まで} すぐ友達になれます。
4. 私はその歌手にサインをもらうつもりでしたが、人が多くてそばに行くこと {a. さえ　b. でも　c. まで} できませんでした。

5. この前の校内マラソン大会には、学生だけでなく先生 {a. さえ　b. でも　c. まで} 参加しました。
6. 財布の中には10円玉 {a. さえ　b. でも　c. まで} 残っていません。
7. あそこの喫茶店でお茶 {a. さえ　b. でも　c. まで} 飲みませんか。
8. 小林さんは旅行が好きで、グリーンランドに {a. さえ　b. でも　c. まで} 行ったことがあるそうです。
9. この試験問題は難しすぎて、天才と言われている彼 {a. さえ　b. でも　c. まで} 答えられませんでした。
10. よかったら、明日、映画に {a. さえ　b. でも　c. まで} 行きませんか。

〈ステップ3〉正しいものを選んでください。

1. これは企業秘密だから、ライバル会社に知られ {a. さえ　b. でも　c. まで} したら、大問題になります。
2. 試験の問題は教科書から出しますから、教科書を復習し {a. さえ　b. でも　c. まで} すれば、いい点が取れます。
3. あなた {a. さえ　b. でも　c. まで} いれば、ほかにほしいものはありません。
4. この池は深いから、子供が落ち {a. さえ　b. でも　c. まで} したら大変です。
5. 英語を勉強したことがあるのなら、上手に話せない {a. さえ　b. でも　c. まで} も、あいさつぐらいはできるでしょう。

第3課 対象を表す「が」と「を」

ステップ1…… 「が」と「を」の基本的な用法

1.「を」の用法

助詞の「**を**」は、動作や作用の対象を表す時に使います。

助词〔を〕用于说明行为以及作用的对象。

●例文

1. 私は毎朝、コーヒー**を**飲み、パン**を**食べます。
2. 弟はパソコン**を**ほしがっています。
3. 植物は根から水**を**吸います。

2.「が」の用法

助詞の「**が**」は、可能（例 4）、所有（例 5）、存在（例 6）、必要（例 7）、感情の対象（例 8 ～ 10）を表す時に使います。

助词〔が〕用于说明能力（例 4）、所有（例 5）、存在（例 6）、必要（例 7）、感情投入的对象（例 8 ～ 10）。

●例文

4. 田中さんは英語とスペイン語**が**わかります。
5. 山田さんは財産**が**たくさんあります。
6. 西安〔せいあん〕は名所旧跡**が**多いです。
7. 商売を始めるには多額の資金**が**必要です。
8. 私はクラシック〔古典〕音楽**が**好きです。

9. 今度の誕生日には、カメラ**が**ほしいです。
10. 私は日本語の上手な劉さん**が**うらやましいです。

ステップ2……「が」と「を」の使い分け

「動詞＋たい」の対象を表す時に、「**を**」を使うか「**が**」を使うかによって、話し手が重点を置くところが変わります。

例11の、「水を飲みたい」は「水を飲む」ことに重点があり、したいことはなんであるかが強調されます。つまり、「家に着いてまず、私がしたい行為は（服を着替えることでもなく、何かを食べることでもなく）水を飲むことだ」という気持ちを表します。一方、「水が飲みたい」は「水」に重点があり、飲みたい物はなんであるかが強調されます。つまり、「家には飲み物がいろいろあるが、家に着いたらぜひ飲みたいと思う飲み物は（お茶でもなく、ビールでもなく）水だ」という気持ちを表します。例12では、食事をすることではなく何を食べるかが話題の中心となっていて、いろいろな食べ物の中から食べたい物を選んでいます。このように、全体の中から一つの対象を選んで強調する場合には、「**が**」のほうが自然です。

说明〔動詞＋たい〕的对象的时候，用〔を〕和〔が〕时说话人所指的重心有所不同。

例11中〔水を飲みたい〕的说话重心是“喝水”，强调想做的是什么。也就是说，“我回家后要做的第一件事（既

不是换衣服，也不是吃东西）是喝水”。而〔水が飲みたい〕的重心是“水”，强调想喝的是什么。也就是说，“家里喝的东西有很多种，我回家后最想喝的（既不是茶，也不是啤酒）是水”。例12的说话重心不是吃饭这件事，而是要从众多食物中选择吃什么。诸如此类要从全体中选择一个对象的情况下用〔が〕自然一些。

●例文

11. 家に着いたら、水**を**／**が**飲みたい。
12. 男「明日は君の誕生日だから、ぼくが夕食**を**おごる〔请客〕よ。何**が**食べたい？」
女「そうねえ。おいしいお寿司**が**食べたいな」

ステップ3……「を」のその他の用法

次の①～⑥は「動詞＋たい」の対象を表す助詞として「**が**」よりも「**を**」を使うほうが自然な場合です。

下面的①～⑥说明的是作为表示〔動詞＋たい〕的对象的助词，用〔を〕比〔が〕更为自然的场合。

① 対象を表す語と「動詞＋たい」の間にほかの語句が入っている場合

在表示对象的语句与〔動詞＋たい〕之间有其他语句的场合

●例文

13. 中国へ行ったら、中国の映画**を**できるだけたくさん見たいです。
14. このテープ**を**聴解教材として使いたい。

②動詞が対象に変化を起こすような強い働きかけを表す場合、授受・移動を表す場合

动词是能对其对象产生很大影响的场合或表示授受、移动的场合

●例文

15. 古い家**を**壊したいけれど、壊すにも費用がかかります。
16. 今度の週末には部屋**を**片付けたい。
17. 野菜**を**育てたいので、広い庭がある家に住もうと思っています。
18. 家中のゴキブリ〔蟑螂〕**を**退治したい。
19. 彼の誕生日にはネクタイ**を**贈りたい。
20. 隣の部屋にこの荷物**を**運びたいんです。手伝ってください。

③対象が人の場合

対象が人の場合、主語の「**が**」との混同を避けるために「**を**」を使います。例 21 では、主語は書かれていなくても、話している相手が彼のことを信じたいという意味です。「**を**」を「**が**」に置き換えると、「彼が（誰かを）信じたい」という意味になってしまいます。

对象是人的场合，为了避免与主语的〔が〕混淆，要用

〔を〕。例21即使没有说明主语，也可以知道是对方想相信话题中的“他”不是犯人，如果把这里的〔を〕换成〔が〕的话，就变为“他”想相信其他某个人的意思了。

●例文

21. 彼**を**信じたい気持ちはわかりますが、彼が犯人であることは間違いありません。
22. 「子供**を**しかりたくてもしかり方がわからない」という親が増えています。
23. できることなら空港で先生**を**お出迎えしたいのですが、明日は期末試験がありますので……。

④対象を表す語と動詞の結び付きが強い場合

「手紙を出す」「歯をみがく」「湯をわかす」「病気を治す」などは、名詞と動詞の結び付きが固定化しているものです。また「手を引く〔それまでしてきたことをやめる、関係を断つ〕」「肩を持つ〔味方になる〕」などの慣用表現もあります。

如〔手紙を出す〕〔歯をみがく〕〔湯をわかす〕〔病気を治す〕等，是名词与动词的结合已成为固定化的用法。另外还有〔手を引く（停止做某事、断决关系）〕〔肩を持つ（站在同一方）〕等类的习惯用法。

●例文

24. 電話**を**かけたいんですが……。
25. 〈ホテルの従業員が客に〉暖房**を**お使いになりたかったら、このスイッチを押してください。
26. 彼女はうそ**を**つきたくてついたのではありません。

⑤動詞に補助動詞の「もらう／あげる／いく／おく／しまう／いる」など、助動詞の「れる・られる／せる・させる」が付いている場合

动词后面接续〔もらう／あげる／いく／おく／しまう／いる〕等补助动词、以及接续〔れる・られる／せる・させる〕等助动词的场合

●例文……

27. 課長「山田君、今日中にこの仕事**を**やってもらいたいんだが、できるかね」
　山田「はい、できます」
28. 旅行に行く前に資料**を**見ておきたくて、今図書館に通っています。
29. 誰でも自分の弱点**を**知られたくないものです。
30. 将来、子供にピアノ**を**習わせたいと思っています。

⑥動詞が漢語動詞の場合

動詞が漢語動詞である場合は「**を**」を使い（例 31、33）、漢語動詞と同じ意味の和語動詞を使うと、「**が**」と「**を**」の両方が使えます（例 32、34）。

动词是“汉语动词”的场合用〔を〕（例 31、33），使用和“汉语动词”意思相同的“和语动词”即日语固有的动词时，则〔が〕〔を〕都可以使用（例 32、34）。

●例文

31. 今年はいい論文**を**執筆したいです。
32. 教師「今年の目標は何ですか」
    学生「はい、今年はいい論文**が**／**を**書きたいです」
33. 今度の休みには、山奥へ行って星**を**観察したい。
34. 今度の休みには、山奥へ行って星**が**／**を**見たい。

なお、述語が「～たがる」の文で対象を表す場合、助詞は「**が**」でなく「**を**」を使います（【たい・たがる】313頁参照）。

此外，谓语是〔～たがる〕的句子中，说明对象的助词要用〔を〕而不是〔が〕（参照【たい・たがる】313页）。

練習問題

〈ステップ1〉正しいものを選んでください。

1. 金さんは車の運転 {a. を　b. が} できます。
2. 鈴木さんはお兄さん {a. を　b. が} います。
3. 私は大学 {a. を　b. が} 卒業しました。
4. 私は犬 {a. を　b. が} こわいです。
5. 私は手話 {a. を　b. が} わかります。

〈ステップ2・3〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 私はこの人形 {a. を　b. が} 窓のそばに飾りたいと思っています。

2. 山田「日本へ行ったら、どんな映画 {a. を　b. が} 見たいですか」
　李　「そうですね。黒沢明〔くろさわあきら〕の映画 {a. を　b. が} 見たいです」
3. 私はこの病気 {a. を　b. が} できるだけ早く治したいです。
4. エアコン {a. を　b. が} 入れたいのですが、壊れていて動きません。
5. 私は子供が寝ているあいだに、この本 {a. を　b. が} 終わりまで読んでしまいたいです。
6. 来週のパーティーに田中さん {a. を　b. が} 招きたいです。
7. おなかの調子が悪いので、何か温かくて消化しやすい物 {a. を　b. が} 食べたいです。
8. 私は困っている人 {a. を　b. が} 助けたいです。
9. 〈宇宙飛行士〉地球に戻ったら、まず熱いシャワー {a. を　b. が} 浴びたいです。
10. 黒板の字が見えないので、眼鏡〔めがね〕{a. を　b. が} かけたいです。
11. 今日は父の誕生日なので、父が帰って来てから食事 {a. を　b. が} 始めたいです。
12. 後ろから突然肩 {a. を　b. が} たたかれて、びっくりしました。
13. これからも日本語の勉強 {a. を　b. が} 続けていきたいと思っています。
14. 私は日本で映画 {a. を　b. が} 撮影〔さつえい〕したいです。
15. 校長は校則 {a. を　b. が} 改定したいと思っています。

第4課 たら・と・なら・ば

ステップ1…… まだ起こっていないことを表す用法

1. 不確実な事柄の仮定

「**たら**」「**と**」「**ば**」には、起こるかどうかわからないことを起こったと仮定して述べる用法があります。この場合、副詞「もし」を付けて表現できることが多いです。あとの表現が無意志的な表現であれば、「**たら**」「**と**」「**ば**」のいずれも使えます（例1、2）が、あとが意志的な表現の時は「**たら**」「**ば**」しか使えません（例3、4）。ただし、前が話し手の意志的な行為を表す場合には「**たら**」を使い、「**ば**」は使いません（例5）。

〔たら〕〔と〕〔ば〕可以对不确定能否发生的事情假设已经发生加以叙述。这种场合，常与副词〔もし〕一起使用。如果其后面的词句不含有任何意志色彩，〔たら〕〔と〕〔ば〕三者都可以使用（例1、2）。如果其后面的词句含有意志色彩，则只能用〔たら〕〔ば〕（例3、4），但这时如果其前面的词句含有说话人的意志，〔ば〕也不能使用，只能用〔たら〕（例5）。

●例文……

1. この薬を飲む**と**／飲め**ば**／飲ん**だら**、風邪はすぐに治りますよ。
2. もしこれ以上借金が増える**と**／増えれ**ば**／増え**たら**、会社は倒産してしまいます。
3. もし明日天気が良け**れば**／良かっ**たら**、ドライブに行きます。〈誤：と〉
4. 仕事が早く終わ**れば**／終わっ**たら**、お酒を飲みに行きましょう。〈誤：と〉
5. 私が仕事を終え**たら**、出かけましょう。〈誤：と、ば〉

2. 確実に起こる事柄の仮定

「**たら**」「**と**」「**ば**」には、確実ではあるがまだ起こっていないことを起こったと仮定して述べる用法があります。この場合には「もし」は付けられません。あとの表現が無意志的な表現であれば、「**たら**」「**と**」「**ば**」のどれも使えます（例6、7）。しかし、あとが勧誘や指示など話し手の意志的な表現の時は、「**たら**」しか使えません（例8、9）。

〔たら〕〔と〕〔ば〕还可以对确定能够发生但还没有发生的事情假设已经发生加以叙述。这种场合不能与〔もし〕一起使用。如果其后面的词句不含有意志色彩，〔たら〕〔と〕〔ば〕都可以使用（例6、7）。但是如果其后面是含有劝诱、指示等代表说话人意志的词句，则只能用〔たら〕（例8、9）。

●例文

6. 明日になる**と**／なれ**ば**／なっ**たら**、血液検査の結果がわかります。
7. 来月になる**と**／なれ**ば**／なっ**たら**、少し暇になります。
8. 夏休みになっ**たら**、いっしょに旅行に行きませんか。〈誤：と、ば〉
9. 10時になっ**たら**、私の研究室に来てください。〈誤：と、ば〉

3. 前後関係にある事柄の仮定

前の動作や行為を終えてからあとの動作や行為を行うという意味で、あとの文が話し手の意志的な表現を表す時は、「**たら**」しか使えません。

所叙述的事情存在前后关系，结束前面的动作或行为后才能够进行后面的动作或行为，并且后文所表达的是含有说话人意志的词句的场合，只能用〔たら〕。

●例文

10. この本はおもしろいです。私が読んだら、貸してあげましょうか。〈誤:と、ば〉
11. 日本に着いたら、すぐ両親に電話をかけるつもりです。
12. 学校から帰ったら、手を洗ったほうがいいです。
13. ご飯を食べたら、10時まで勉強します。

ステップ2…… すでに起こったことを表す用法

1. 新しい展開を表す「たら」「と」

前に起こった事柄をきっかけとして、あるいはある状況の中で、新たに何かが起こったり、何かを発見したりすることを述べる時は、「**たら**」「**と**」を使います。この場合、文末は過去形になります。話し手の驚きの気持ちを伴うことが多いです。「**なら**」「**ば**」にこの用法はありません。

〔たら〕〔と〕可以用来叙述由于前面发生的事情，或在某种状况中，出现的新情况以及新的发现。这种场合，句子的末尾用过去形。一般带有说话人惊讶的心情。〔なら〕〔ば〕没有这种用法。

●例文

14. 教室に入ると／入ったら、もう先生が来ていました。〈誤：なら、ば〉
15. ドアを開けると／開けたら、突然煙が吹き出してきました。〈誤：なら、ば〉
16. 道を歩いていると／歩いていたら、知らない人に声をかけられました。〈誤：なら、ば〉
17. 運動をやめると／やめたら、急に太ってきました。〈誤：なら、ば〉

18. 先生が説明を始める**と**／始め**たら**、学生はいっせいにノートをとり始めました。〈誤：なら、ば〉
19. 遅れて教室に入る**と**／入っ**たら**、みんながいっせいに振り向きました。〈誤：なら、ば〉

2. 同じ主体の連続する動作や作用を表す「と」

同じ主体の動作や作用の連続を表す時には、「**と**」を使います。この場合、動詞の「～て」の形に置き換えられます。「**たら**」「**なら**」「**ば**」は使えません。

〔と〕用来表示同一个主体的连续动作、作用。这种场合可以用动词的〔～て〕形来替换。〔たら〕〔なら〕〔ば〕没有这种用法。

●例文

20. 李さんはバスに乗る**と**、いちばん後ろの席に座りました。〈誤:たら、なら、ば〉
21. サッカーの試合を見るため、部屋に入る**と**急いでテレビをつけました。〈誤：たら、なら、ば〉
22. ボールはころころ転がる**と**、穴の中に落ちました。〈誤：たら、なら、ば〉

ステップ3…… 一般的及び習慣的な事柄を表す用法

論理的及び一般的な事実（例23、24）、自然現象（例25）、習慣（例26、27）を表す場合は「**たら**」「**と**」「**ば**」を使います。「**たら**」は話し言葉でよく使います。

〔たら〕〔と〕〔ば〕可以用来叙述逻辑性的、常识性的

事実（例 23、24）、自然現象（例 25）、习惯（例 26、27）等。这种用法中的〔たら〕多用于日常会话。

●例文……

23. 9を3で割ると／割れば／割ったら、3になります。
24. この道をまっすぐ行くと／行けば／行ったら、左側に郵便局があります。
25. 春になると／なれば／なったら、桜が咲きます。
26. うちの子供は時間があると／あれば／あったら、いつもテレビを見ています。
27. 大学時代は、お金がなくなると／なくなれば／なくなったら、アルバイトをしたものです。

ステップ 4…… 現実と反対のことを表す「たら」「なら」「ば」

実際の状況や起こったこととは反対のことを表す場合、「**たら**」「**なら**」「**ば**」を使います。例 28 は「お金があればいっしょに旅行に行けるのですが、お金がないので行けません」という意味を表し、例 29 は「電話してくれなかったので行けなかった」という意味を表しています。この場合、相手に対して「どうして電話してくれなかったのか」という軽い非難の気持ちを含みます。例 30、31 は、前の事柄は実際に起こったことですが、あとの事柄が反対のことを表しています。この場合、「ば」は使えません。「**たら**」は「**だったら**」の形で使います。

〔たら〕〔なら〕〔ば〕可以用来表示与现实状况或已经发生的事情相反的事情。例 28 的意思是“如果有钱的话可

以一起去旅行，现在因为没有钱所以不能一起去”。例 29 的意思是“因为你没有来电话，所以没能去接你”。这时稍微含有一点“你为什么没来电话”的责备意味。例 30、31 中，前半句是实际已经发生的事情，后半句叙述的则是与其相反的状况。这种场合，不能用〔ば〕。〔たら〕需变换为〔だったら〕的形式。

●例文

28. お金があれ**ば**／あっ**たら**／ある**なら**、いっしょに旅行に行けるのですが。
29. 電話してくれれ**ば**／くれ**たら**／くれた**なら**、駅まで迎えに行ったのに。
30. 誘ってくれるの**なら**／**だったら**、もう少し早く誘ってほしかった。〈誤：ば〉
31. ハルビン〔哈尔滨〕に来ていたの**なら**／**だったら**、連絡してくれればよかったのに。〈誤：ば〉

ステップ 5…… 前提を表す「なら」

「**なら**」は、相手の言ったことやその場の状況を前提として、話し手が自分の意見を述べたり、相手に依頼したり指示したりする場合に使います。

〔なら〕用于说话人以对方的话或当时的状况为前提，叙述自己的意见或向对方提出请求、指示的场合。

●例文

32. 山口「張さんがどこにいるか知りませんか」
　　李　「張さん**なら**、さっき学生食堂にいましたよ」

33. 山口「すみません。電話をお借りしたいのですが……」
　　李　「電話**なら**、そこにあります。どうぞ」
34. 山口「郵便局へ行ってきます」
　　李　「郵便局へ行く**（の）なら**、この手紙を出して来てください」
35. 山口「来週、北京〔ペキン〕へ行く予定です」
　　李　「北京へ行く**（の）なら**、列車より飛行機のほうが楽ですよ」
36. 李　「来年、日本へ行こうと思っています」
　　山口「日本へ行く**（の）なら**、今のうちにしっかり日本語を勉強しておきなさい」

練習問題

〈ステップ1・2〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. もし100万円 {a. あったら　b. あると　c. あれば}、海外旅行がしたいです。
2. 次の誕生日が {a. 来たら　b. 来ると　c. 来れば}、私は20歳になります。
3. その新聞を読み {a. 終わったら　b. 終わると　c. 終われば}、私にも見せてくださいませんか。
4. 今日は疲れたので、家に {a. 帰ったら　b. 帰ると　c. 帰れば}、すぐに寝ます。
5. デパートへ {a. 行ったら　b. 行くと　c. 行けば}、定休日でした。
6. 李さんはグラスを {a. 持ったら　b. 持つと　c. 持てば}、「事業の成功を祝って、乾杯しましょう」と言いました。
7. 今日の会議が {a. 終わったら　b. 終わると　c. 終われば}、部長のところへ報告に行ってください。
8. この機械を {a. 使ったら　b. 使うと　c. 使えば}、たくさんの野菜でも簡単に切ることができます。
9. 夜空を {a. 見たら　b. 見ると　c. 見れば}、きれいな星がたくさん光っていました。
10. 弟は外へ {a. 出たら　b. 出ると　c. 出れば}、「あ、雪だ」と叫びました。

〈ステップ3・4・5〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. このスイッチを {a. 押すと　b. 押すなら　c. 押せば}、機械が動きます。
2. 「来週、あの店で食事をしようと思っています」
   「あの店で食事を {a. したら　b. すると　c. するなら}、予約をしておいたほうがいいですよ。いつも込んでいますから」
3. もう少し早く家を {a. 出たら　b. 出れば　c. 出たなら}、電車に間に合っていたでしょう。
4. 帰国 {a. したら　b. すれば　c. するなら}、もっと早く教えてほしかったです。送別会を開く時間もありません。
5. 「私は桜が見たいです」
   「桜を {a. 見たら　b. 見れば　c. 見るなら}、上野公園がいいですよ」
6. 赤ちゃんはおなかが {a. すいたら　b. すくと　c. すけば} 泣き出します。
7. あの坂を {a. 下ったら　b. 下ると　c. 下れば}、海に出ます。
8. 多くの人は、年を {a. とったら　b. とると　c. とれば} 目が悪くなります。
9. 車が {a. あったら　b. あると　c. あれば} ドライブに行けるのですが、ないので残念です。
10. 張　「昨日、秋葉原へ行ってきたよ」
    田中「そうなの。秋葉原へ行ったの {a. だったら　b. だと　c. なら}、安いカメラを買ってきてほしかったのに」

第5課 で・に

ステップ1…… 場所を表す用法

1. 存在する場所を表す「に」、動作や行為が行われる場所を表す「で」

「**に**」は人や物が存在する場所や地点を表します（例1～4）。主体が動作や行為を行った結果として、主体自身が存在するようになった場所、あるいは主体による動作や行為を受けた対象が結果として存在するようになった場所を表す時も「**に**」を使います（例5～9）。到着点や目的の場所を表す時も「**に**」を使います。例10、11の「**に**」は移動の目的の場所を表す「へ」に置き換えることができますが、例8、9は「へ」に置き換えると不自然になります。これは、「バス」「風呂」が移動の目的の場所ととらえられていないからです。

「**で**」は動作や行為が行われたり、出来事が起こったりする場所や範囲を表します（例12、13）。 例14～16は「**で**」と「**に**」のどちらも使えますが、意味が異なります。例14で「**で**」を使うと、猫が「寝る」という行為をベッドで行っているという点に重点があり、「**に**」を使うと、猫がベッドの上に存在しているという点に重点があります。例15で「**に**」を使うと、「子供が下から屋根に向かって石を投げました。そして、石は今屋根の上にあります」という意味になりますが、「**で**」を使うと、「子供が屋根に上って、そこで石を投げました」という意味になり、石がどこにあるかはこの文だけではわかりません。例16で「**に**」を使うと、作った犬小屋は庭にありますが、「**で**」を使うと、作った犬小屋が庭にあるとは限りません。

〔に〕表示人、物所在的地点、场所（例 1 ～ 4）。〔に〕也可以用来表示动作或行为的主体完成其动作或行为之后，主体本身所存在的场所，以及动作或行为的主体完成其动作或行为之后，其结果导致动作行为的对象所存在的场所（例 5 ～ 9）。说明到达点或目的地时也可以用〔に〕。例 10、11 中的〔に〕可以用表示移动的目的地的〔へ〕来替换。但是如果把例 8、9 中的〔に〕用〔へ〕来替换就显得不自然了。因为〔バス〕〔ふろ〕不能看作是移动的目的地。

〔で〕用来表示动作、行为以及事情的发生场所和范围（例 12、13）。例 14 ～ 16 中，既可以用〔で〕也可以用〔に〕，但所表达的意思有所不同。例 14 如果使用〔で〕，说话的重点是猫在床上“睡觉”的行为。如果使用〔に〕，重点则是猫所在的位置是在床上。例 15 如果使用〔に〕，意思是“孩子从下面往房顶扔石子，石子现在所在的位置是在房顶上”。如果使用〔で〕，意思则是“孩子爬上房顶扔石子”，从句子中判断不出石子现在所在的位置。例 16 中使用〔に〕时表示做成的狗屋在院子里。如果用〔で〕，做成的狗屋所处的位置不一定在院子里。

●例文

1. 王さんは図書室**に**います。
2. ベッドの上**に**猫がいます。
3. 机の上**に**本があります。
4. 箱の中**に**ケーキが入っています。
5. 庭**に**たくさんの花が咲いています。
6. 道路の両側**に**街路樹が植えてあります。
7. 壁**に**花柄の壁紙を貼りました。

8. 満員のバス**に**なんとか乗ることができました。
9. ご飯を食べてから、お風呂**に**入りました。
10. 来年日本**に**行く予定です。
11. 飛行機は予定どおり大連〔だいれん〕**に**着きました。
12. 王さんは図書室**で**本を読んでいます。
13. ベッドの上**で**猫が遊んでいます。
14. ベッドの上**で**／**に**猫が寝ています。
15. 子供が屋根の上**で**／**に**石を投げました。
16. 庭**で**／**に**犬小屋を作りました。

2.「で」を要求する動詞、「に」を要求する動詞

存在場所を表す「**に**」と強く結び付く動詞があります（例 17 ～ 19）。例 19 で、「勤める」という動詞は「働く」という行為を行う場所としてではなく、勤務先として身を置く場所、つまり存在場所として「**に**」と結び付きます。

例 20 ～ 22 のような活動を表す動詞は「**で**」と結び付きます。

有一些动词与表示所在场所的〔に〕关系比较密切（例 17 ～ 19）。例 19 中〔勤める〕这个动词不是表示〔働く〕这个行为发生的场所，而是表示所在的工作单位，即寄身之所。所以〔勤める〕要与表示场所的〔に〕相连接。

正如例 20 ～ 22 所示，与表示动作、行为的动词连接的场合要用〔で〕。

●例文

17. 私の兄は北京〔ペキン〕**に**住んでいます。
18. 日本へ行って、東京**に**1ヵ月滞在する予定です。
19. 私の兄は北京の合弁会社**に**勤めています。
20. 私の兄は北京**で**暮らしています。
21. 物価の高い日本**で**生活するのは大変です。
22. 私の兄は北京の合弁会社**で**働いています。

3.「で」と「に」をいっしょに使う場合

動作や行為の場所を表す「**で**」と存在場所を表す「**に**」をいっしょに使うこともできます。この場合、まず「**で**」で場所の範囲を表し、「**に**」でその範囲内の1地点を表すことになります。

表示动作、行为发生场所的〔で〕和表示所在场所的〔に〕可以一起使用。这时一般先用〔で〕表示出场所的范围，然后用〔に〕表示该范围内的一个地点。

●例文

23. 日本**で**は、東京**に**1ヵ月滞在します。
24. 私の兄は北京**で**合弁会社**に**勤めています。

ステップ2…… 原因や理由を表す用法

1. 動詞の「て形」に似ている「で」の原因や理由を表す用法

原因や理由を表す「**で**」は「**に**」より使い道が広く、事柄一般に使うことができます。ただし、あとには無意志的な表現がよく来ます（例25～27）。これらは原因や理由を表す動詞の「て形」の用法に似ています。例25は、「地震が起こって、家が壊れました」、例26は「医者にもらった薬を飲んで、病気が治りました」、例27は「病気になって、学校を休みました」のように言い換えることができます。

表示原因、理由的〔で〕比〔に〕的使用范围要广一些，一般场合都可以使用。但是，后面一般接不包含意志色彩的语句（例25～27）。这种用法与用动词的〔て形〕来表示原因、理由的用法相似。例25可以变换为〔地震が起こって、家が壊れました〕，例26可以变换为〔医者にもらった薬を飲んで、病気が治りました〕，例27可以变换为〔病気になって、学校を休みました〕的形式。

●例文……

25. 地震**で**家が壊れました。
26. 医者にもらった薬**で**病気が治りました。
27. 私は昨日病気**で**学校を休みました。

2. 心理現象や生理現象を引き起こす原因や理由を表す「に」

「**に**」は、心理現象や生理現象を引き起こす原因や理由を表す時にも使います。この場合は「(～の原因) によって」という意味になります。例 28、29 は心理現象で、例 30、31 は生理現象です。これらはすべて原因を表す「**で**」に置き換えることができますが、「**に**」のほうが「**で**」より自然です。動詞と「**に**」の結び付きが慣用的になっているからです。

〔に〕还可以用来表示引发某种心理现象或生理现象的原因、理由。这时〔に〕的意思是〔(～の原因) によって〕即“由于～（的原因）”。例 28、29 是心理现象，例 30、31 是生理现象。这几个例子中的〔に〕都可以用〔で〕来替换，但是〔に〕比〔で〕显得更自然一些。因为习惯上这些动词和〔に〕接在一起使用。

●例文

28. 学生たちは将来の進路**に**悩んでいます。
29. 突然の地震**に**大変驚きました。
30. 小さな犬が寒さ**に**震えていました。
31. 勉強**に**疲れた時は、音楽を聞いてリラックス〔放松〕します。

練習問題

〈ステップ1〉正しいものを選んでください。

1. 校庭 {a. で　b. に} 学生たちがバレーボールをしています。
2. 私は東京 {a. で　b. に} 住んでいます。
3. 来月、私の大学 {a. で　b. に} 100周年記念祭があります。
4. 劉さんはコンピューター会社 {a. で　b. に} 勤めています。
5. 李さんは病院 {a. で　b. に} 働いています。
6. 公園のベンチ {a. で　b. に} 座って、昼ご飯を食べました。
7. 庭 {a. で　b. に} みかんの木が植えてあります。
8. 探査機〔たんさき〕は無事火星 {a. で　b. に} 到着しました。
9. 兄は中国 {a. で　b. に} 大学の寮 {a. で　b. に} 住んでいます。
10. 張さんは教室 {a. で　b. に} 後ろのほうの席 {a. で　b. に} 座っています。

〈ステップ2〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 多くの人が飢え {a. で　b. に} 苦しんでいます。
2. 台風 {a. で　b. に} 新幹線が遅れました。
3. 大きな音 {a. で　b. に} 驚いて、目が覚めました。
4. ナイフ {a. で　b. に} 手を切ってしまいました。
5. 仕事 {a. で　b. に} 東京へ行きました。

第6課　といっしょに・とともに

ステップ1…… 物事を共同で行ったり、ひとまとめにしたりすることを表す用法

1. 置き換えられる「といっしょに」「とともに」

「**といっしょに**」「**とともに**」は、人がほかの人と共同でまたは協力して物事を行うことを表します（例1～3）。また、物事をひとまとまりにすることも表します（例4～6）。「とともに」はあらたまった場面や書き言葉で使うことが多く（例3、5）、「といっしょに」は日常会話で使うことが多いです（例6）。

〔といっしょに〕〔とともに〕表示与他人一同或相互协助去做某事（例1～3）。还可以表示把事物结合到一起的意思（例4～6）。〔とともに〕多用于正式场合和书面语中（例3、5），〔といっしょに〕常用于日常会话（例6）。

●例文……

1. 私は毎朝夫**といっしょに**／**とともに**散歩をします。
2. この夏、私は学生**といっしょに**／**とともに**旅行をしました。
3. 〈ニュース〉現場では、警察官が航空会社の技術者**とともに**事故の原因を調査しています。
4. 本の代金を送料**といっしょに**／**とともに**送ります。
5. 〈論文〉参考文献は調査資料**とともに**稿末に載せた。
6. 明日の授業では教科書**といっしょに**この資料集も使いますから、持って来てください。

2. 置き換えられない「といっしょに」

「**といっしょに**」は「**といっしょ**＋の」という形で、名詞を修飾することがあります。また、「**といっしょ**＋だ／です」という言い切りの形があります。これらの場合、「**ともに**」に置き換えることはできません。

〔といっしょに〕还有一种用法是以〔といっしょ＋の〕的形式来修饰名词。还可以以〔といっしょ＋だ／です〕的形式结束句子。这些场合都不能用〔ともに〕来替换。

●例文

7. 昨日友達**といっしょ**の時、先生に会いました。〈誤：ともに〉
8. 私は学校でお弁当を食べる時、いつも友達の王さん**と**いっしょです。〈誤：ともに〉

ステップ2……「ともに」のその他の用法

1. 性質や特徴の同時性を表す用法

「**ともに**」は、ある事柄が二つの性質や特徴を同時に持つことも表します。この場合、「**といっしょに**」に置き換えることができません。

〔ともに〕还可以用来表示要说明的事情同时具备两种性质或特征。这种场合不能用〔といっしょに〕来替换。

●例文

9. いよいよ卒業の日を迎え、うれしさ**ともに**寂しさも感じます。
〈誤：といっしょに〉
10. スポーツの勝敗には、実力**ともに**運が影響します。〈誤：といっしょに〉

2. 現象の同時性を表す用法

「**とともに**」は、ある現象が起きた時、同時に別の現象が起きることも表します。この場合は「**といっしょに**」に置き換えることができません。

〔とともに〕也可以用来表示在某种现象发生的同时，也发生了其他的现象。这种场合不能用〔といっしょに〕来替换。

●例文

11. スタート〔起跑〕の合図**とともに**、選手がいっせいに走り出しました。
12. その島の人々は夜明け**とともに**海へ漁に出ます。

3. 変化を表す用法

「**とともに**」は、ある現象の変化を受けて、状態が徐々に変化することも表します。この場合は「**といっしょに**」に置き換えることができません。

〔とともに〕还可以用来表示事物的状态随着某现象发生变化而变化。这种场合不能用〔といっしょに〕替换。

●例文

13. 年をとる**とともに**目が悪くなってきました。
14. 町に工場が増える**とともに**環境も悪化しました。
15. 科学技術の進歩**とともに**生活も向上しました。

練習問題

正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 私は父と {a. ともに　b. いっしょに} 東京で行われる会議に出席しました。
2. 山田「これは何ですか」
   劉　「北京ダックです。ねぎと {a. ともに　b. いっしょに} 食べるとおいしいですよ」
3. 私は金さんと {a. とも　b. いっしょ} の部屋に泊まりたいです。
4. 町が開発されると {a. ともに　b. いっしょに}、ほかの町から引っ越してくる人が増えました。
5. 李　「山口先生、この夏はどこかに行きましたか」
   山口「学生と {a. ともに　b. いっしょに} 長春に行きました」
6. バーゲンセール〔大甩卖〕の日、デパートには、開店と {a. ともに　b. いっしょに} 買い物客がなだれ込みました。
7. 人の考え方は時代の流れと {a. ともに　b. いっしょに} 変わっていくものです。
8. 爆発と {a. ともに　b. いっしょに} 黒い煙が立ち昇って、何も見えなくなりました。
9. この仕事には深い知識と {a. ともに　b. いっしょに} 豊かな経験が必要です。
10. 春が来ると {a. ともに　b. いっしょに}、冬眠〔とうみん〕していた動物たちが活動を始めます。

第7課　ないで・なくて

ステップ1…… 前の述語が「名詞＋だ」、形容詞、形容動詞の場合

「**ないで**」「**なくて**」は、前の事柄を否定してあとの事柄を続けて述べる時に使いますが、前の述語が「名詞＋だ」や形容詞、形容動詞の場合は「**なくて**」を使います。事柄を並列的に述べたり（例1、2）、前の事柄があとの事柄の原因や理由を表したり（例3、4）します。これらの場合、「**なくて**」は「**ないで**」に置き換えられません。

〔ないで〕〔なくて〕都用来否定前面的事情并接下来叙述后面的事情，但前面的谓语是〔名詞＋だ〕或形容词、形容动词的场合使用〔なくて〕，用来并列地叙述前后两件事情（例1、2）或表示前面的事情是后面的事情的原因、理由（例3、4）。这些场合〔なくて〕不能用〔ないで〕替换。

●例文……

1. あの人は、李さんでは**なくて**張さんです。〈誤：ないで〉
2. このビデオカメラは、重く**なくて**操作も簡単です。〈誤：ないで〉
3. 王さんの部屋は、ストーブが**なくて**寒いです。〈誤：ないで〉
4. ホテルのサービスが十分で**なくて**、みんな怒っています。〈誤：ないで〉

ステップ2…… 前の述語が動詞の場合

前の述語が動詞の場合は、次のように前の事柄とあとの事柄の意味関係によって使い方が分かれます。

前の事柄があとの事柄の原因や理由を表す場合は、普通「**なくて**」を使います（例5～8）。この場合、あとには勧誘や指示、意志など話し手の主観的表現を使うことはできません。前の事柄があとの事柄が起こる時の状況を表す場合は「**ないで**」を使い、「**なくて**」は使えません（例9～11）。

如果前面的谓语是动词，根据前后意思的关联性来决定用哪一个词。

如果前面的事情是后面事情的原因、理由，一般使用〔なくて〕(例5～8)。这种场合，后面不能接劝诱、指示等表示说话人主观意志的语句。如果前面的事情表示的是后面事情发生时的状况，则使用〔ないで〕而不能用〔なくて〕(例9～11)。

●例文……

5. 合格点が取れ**なくて**、もう一度試験を受けることになりました。
6. 買いたかったのですが、お金が足り**なくて**買えませんでした。
7. 日本へ行った時、田中さんに会え**なくて**残念でした。
8. 子供が野菜を食べ**なくて**困っています。
9. 私は毎日、朝ご飯を食べ**ないで**学校へ行きます。〈誤：なくて〉
10. 先生はいすに座ら**ないで**、立ったまま講義をしました。〈誤：なくて〉
11. 辞書を使わ**ないで**作文を書いてください。〈誤：なくて〉

ステップ3…… あとに補助用言が続く場合

あとに補助用言が続く場合は、あとの表現の意味によって使い方が分かれます。

后面如果出现“补助用言”的场合，要根据后面出现的语句的意思来决定用哪一个词。

1.「ください」「もらいたい」「ほしい」があとに続く場合は「ないで」

あとに依頼、指示を表す「ください」「もらいたい」や希望を表す「ほしい」などの表現が続く場合は「**ないで**」を使い、「**なくて**」は使いません（例12、13）。

親しい人との会話では「ください」や「ほしい」を省略して、言い切りの形または終助詞「ね」「よ」などの付いた形で婉曲〔えんきょく〕な禁止を表すことが多いです（例14、15）。

如果后面出现表示请求、指示的〔ください〕〔もらいたい〕以及表示愿望的〔ほしい〕等词的时候，不能用〔なくて〕，只能用〔ないで〕（例12、13）。

与关系亲密的人说话的时候可以省略〔ください〕〔ほしい〕来结束句子或在后面加终助词〔ね〕〔よ〕，委婉地表达禁止的意思（例14、15）。

●例文……

12. 車の窓からごみを捨て**ないで**ください。〈誤：なくて〉
13. 店の前に自転車を置か**ないで**ほしい。〈誤：なくて〉
14. 車の窓からごみを捨て**ないで**。〈誤：なくて〉
15. ここに自転車を置か**ないで**ね。〈誤：なくて〉

2.「いけない」「だめだ」が続く場合は「なくては」

あとに禁止を表す「いけない」や「だめだ」などの表現が続く場合は「**なくて**」を使い、「当然のこと、義務である」という意味を表します。この場合、「**なくて**」のあとに「は」が付きます。会話では、「**なくては**」が「**なくちゃ**」になることが多いです。

如果后面出现表示禁止意思的〔いけない〕〔だめだ〕的时候用〔なくて〕，意思是“当然应该做的事情、义务”。这种场合要在〔なくて〕的后面接〔は〕。会话中多把〔なくては〕说成〔なくちゃ〕。

●例文

16. 学生はまじめに勉強し**なくては**いけません。
17. もっと早く起き**なくちゃ**だめだよ。

3.「いい」「かまわない」「大丈夫」などが続く場合は「なくて」

あとに「いい」「かまわない」「大丈夫」などの表現が続く場合は「**なくて**」を使い、許容の意味を表します。この時、「**なくて**」のあとに「も」が付きます（例18）。しかし、会話文では、「**なくても**」の「も」が落ちた形になることもあります（例19）。また会話文では「**ないで**」を使うこともあります（例20）。

后面连接〔いい〕〔かまわない〕〔大丈夫〕的时候用〔なくて〕，表示容许的意思。这时〔なくて〕的后面接〔も〕(例18)。但会话文中也可以将〔なくても〕中的〔も〕省略(例19)。此外，会话文中也使用〔ないで〕(例20)。

●例文

18. おなかがいっぱいなら、無理に食べ**なくても**いいですよ。
19. 私のことなら心配し**なくて**大丈夫です。
20. もう遅いから、行か**なくて／ないで**いいよ。

ステップ4…… 前の事柄とあとの事柄を対比的に述べる場合の使い分け

前後の述語が動詞で、前の事柄とあとの事柄を対比的に述べる場合、あとに状態性の強い動詞が来る時は「なくて」を使うのが普通です（例21）。ただし、この時、前後の主語や主題が同じ場合は「**ないで**」も使えることが多いです（例22）。

あとに動作性の強い動詞が来る時は「**ないで**」を使うのが普通です（例23）。しかし、前後の主語や主題が異なる場合は、「**なくて**」を使えることが多いです（例24）。

当前后的谓语都是动词，把前后两件事情进行对比时，如果后面连接的是状态性强的动词，一般使用〔なくて〕（例21）。但是如果这时前后的主语、主题相同，一般也能使用〔ないで〕（例22）。

如果后面动词的动作性较强，一般使用〔ないで〕（例23）。但是如果这时前后的主语、主题不同，一般也能使用〔なくて〕（例24）。

●例文

21. 大人にはできなくて、子供にだけできることもあります。
22. 下の子は親に似ないで／なくて、おばあちゃんに似たようです。
23. 王さんは昨日の会議には出席しないで、今日の会議には出席しました。
24. 兄は大学へ行かないで／なくて、弟は大学へ行きました。

練習問題

〈ステップ1・2〉正しいものを選んでください。

1. 今日は月曜日では {a. ないで　b. なくて}、火曜日です。
2. あのレストランは高く {a. ないで　b. なくて}、味もいいです。
3. 行き方がわから {a. ないで　b. なくて}、道に迷ってしまいました。
4. 今日は工場の機械が動か {a. ないで　b. なくて}、仕事ができませんでした。
5. 昨日の夜は寝 {a. ないで　b. なくて} 試験勉強をしました。
6. 私が勉強しているのはロシア語では {a. ないで　b. なくて} 日本語です。
7. 寝坊をして会社に遅刻しそうだったので、顔を洗わ {a. ないで　b. なくて} 家を出ました。
8. このごろ李さんは宿題をし {a. ないで　b. なくて} 学校に来ることが多いです。
9. 計画を立て {a. ないで　b. なくて} 仕事を始めると失敗しやすいです。
10. 初めて日本の温泉に行った時、ズボンを脱が {a. ないで　b. なくて} 温泉に入ろうとして、みんなに驚かれました。

〈ステップ3・4〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. これは誰にも話さ {a. ないで　b. なくて} ほしい。
2. 母「約束を忘れ {a. ないで　b. なくて} ね」
   子「うん、わかった」

3. 外出する時は、かぎをかけたかどうか確かめ {a. ないで　b. なくて} はいけません。
4. 明日は日曜日だから、早く起き {a. ないで　b. なくて} いいです。
5. パーティーに鈴木さんは来 {a. ないで　b. なくて}、山本さんが来ました。
6. 王さんは学生の時、英語は習わ {a. ないで　b. なくて}、ロシア語を習いました。
7. 鉛筆で書か {a. ないで　b. なくて}、ペンで書いてください。
8. 約束は守ら {a. ないで　b. なくて} はだめですよ。
9. これは練習ですから、緊張し {a. ないで　b. なくて} も大丈夫ですよ。
10. 嫌いなものは食べ {a. ないで　b. なくて} もかまいませんよ。

第8課 にしたがって・につれて・にともなって・によって

ステップ1…… 一方の変化に関連して他方も変化することを表す

1. 関連して変化することを表す「にしたがって」「につれて」「にともなって」

「**にしたがって**」「**につれて**」「**にともなって**」は名詞や動詞のあとに付きます。「**にともなって**」が動詞に付く時、「の＋**にともなって**」の形になることが多いです。これらの表現の前には、「変わる／上がる／進む」など、変化や上昇、進展を表す言葉が来ます。「**にしたがって**」「**にともなって**」は、「**につれて**」よりあらたまった場面や書き言葉で使うことが多く、「**にともなって**」は、規模の大きい変化を表すことが多いです。

〔にしたがって〕〔につれて〕〔にともなって〕接在名词和动词之后。〔にともなって〕接动词时多用〔の＋にともなって〕的形式。此外，这些词句的前面一般接〔変わる／上がる／進む〕等表示变化、上升、进展的词语。与〔につれて〕相比，〔にしたがって〕〔にともなって〕多用于正式场合和书面语中。〔にともなって〕多用于说明规模大的变化的场合。

●例文

1. 時代の変化**にしたがって**／**につれて**／**にともなって**、人の考え方も変わります。
2. 科学が進歩する**にしたがって**／**につれて**／**(の)にともなって**、人々の生活も向上してきました。

2. 関連して起こる事柄に使う「にともなって」、原因を表す「よって」

「A**にともなって**B」は、Aが起きて、Aに関連のあるBが同時あるいはそのあとに起きたことを表します。「**にともなって**」の前には変化を表す言葉ではなく、何かの事件が起きたことを表す言葉が来ます。「A**によって**B」はAが起きたことが原因でBが起きたことを表します。例3のように、地震と津波が関連しているという見方をした場合は「**にともなって**」を使い、地震が津波の原因であるという見方をした場合には「**によって**」を使います。例4も「事業の縮小」と「解雇」は関連する事柄と見ることができ、因果関係にある事柄であるとも考えられるので「**にともなって**」「**によって**」の両方が使えます。

前後の事柄が関連する事柄であるが直接の因果関係ではない場合は「**にともなって**」を使い、「**によって**」は使いません（例5）。逆に直接の因果関係があり、その原因を表す場合は「**によって**」を使い、「**にともなって**」は使いません（例6、7）。例えば、例6は「事故を起こした」直接の原因は「不注意だった」ということを表します。

これらの場合、「**にしたがって**」「**につれて**」に置き換えることはできません。

〔AにともなってB〕表示伴随A的发生,与A相关联的B也同时发生或相继发生。这时〔にともなって〕前面接续的不是表示变化的词语，而是表示发生了某事件的词语。〔AによってB〕是说明A的出现是导致B出现的原因。如例3,把地震和海啸看成是两个相关联的事物的场合用〔にともなって〕，把地震看成是海啸发生的原因的场合用〔に

よって〕。例 4 的〔事業縮小〕和〔解雇〕可以看作是相关联的两件事，也可以看作是有因果关系的两件事，所以〔にともなって〕〔によって〕都可以使用。

句子的前后是相关联的两件事情但不存在直接的因果关系的场合，只能用〔にともなって〕而不能用〔によって〕(例 5)。相反，句子前后的两件事情存在直接的因果关系的场合，表示其原因时只能用〔によって〕而不能用〔にともなって〕(例 6、7)。例 6 的意思是“导致了事故发生”的直接原因是“因为不注意”。

这些场合不能用〔にしたがって〕〔につれて〕来替换。

●例文

3. 地震の発生**にともなって／によって**、津波〔海嘯〕が起こる心配があります。
〈誤：にしたがって、につれて〉
4. 会社の事業縮小**にともなって／によって**、従業員が多数解雇されました。
〈誤：にしたがって、につれて〉
5. 新学年の始まり**にともなって**、新しい担任に変わりました。
〈誤：にしたがって、につれて、によって〉
6. 不注意**によって**事故を起こしてしまいました。
〈誤：にしたがって、につれて、にともなって〉
7. ここは戦争**によって**家族を失った子供たちが暮らす施設です。
〈誤：にしたがって、につれて、にともなって〉

ステップ2…… 「にしたがって」「によって」のその他の用法

1.「によって」

「**によって**」には、受け身の動作主（例8）、手段（例9）、根拠（例10）、対応（例11）などを示す用法もあります。例11は風俗や習慣は国に応じて異なる、国が違うと風俗や習慣も違うという意味です。

〔によって〕还有表示被动句的动作主体（例8）、手段（例9）、根据（例10）、对应（例11）等用法。例11的意思是国家不同风俗和习惯等也不同。

●例文……

8. 東京都庁〔とちょう〕のビルは有名な建築家**によって**設計されました。
9. コンピューター**によって**情報を管理します。
10. 卒業できるかどうかは、試験の結果**によって**決まります。
11. 風俗や習慣は国**によって**大きく異なります。

2.「にしたがって」

「**にしたがって**」は、人や物、規則、習慣などを表す名詞に付いて、「そのとおりに、それに反対しないで」という意味を表すこともあります。

〔にしたがって〕还可以接在表示人、物、规则、习惯等名词的后面，表示“按照～、不违背～”的意思。

●例文

12. 案内人**にしたがって**、山を登って行った。
13. 医師の指示**にしたがって**、食事の内容を変えることにしました。
14. 交通違反は、規則**にしたがって**罰金〔ばっきん〕が課〔か〕せられます。
15. 地図**にしたがって**歩いて行ったら、迷わずに目的地に着きました。

練習問題

〈ステップ1〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 水は温度の変化に {a. したがって　b. つれて　c. ともなって}、体積も変化します。
2. あの子は大きくなるに {a. したがって　b. つれて　c. よって}、だんだん母親に似てきました。
3. 外国人在住者の増加に {a. したがって　b. ともなって　c. よって}、外国語を使う機会も増えています。
4. 委員長の任期満了に {a. したがって　b. ともなって　c. よって}、委員も全員辞表を提出しました。
5. 店の改装に {a. したがって　b. ともなって　c. よって}、店員の数を増やすことにしました。
6. 地震に {a. したがって　b. ともなって　c. よって} 倒れたお寺を建て直すのにお金がたくさんかかりました。
7. 鉄道の開通に {a. つれて　b. ともなって　c. よって}、これまで使われていたバスは廃止〔はいし〕されました。
8. 大学が郊外に移転するのに {a. つれて　b. ともなって　c. よって}、いくつかの研究所が新しく作られることになりました。
9. 父の北京への転勤に {a. つれて　b. ともなって　c. よって}、家族全員が北京に引っ越しました。

10. その政治家の努力に {a. つれて　b. ともなって　c. よって}、両国関係は改善されました。

〈ステップ2〉正しいものを選んでください。

1. この水墨画〔すいぼくが〕は、清朝〔しんちょう〕の画家に {a. よって　b. したがって} 描かれました。
2. 私達はテレビやラジオに {a. よって　b. したがって} 世界中の出来事を知ることができます。
3. 多数決に {a. よって　b. したがって} その計画は実行しないことになりました。
4. この薬は、説明書の内容に {a. よって　b. したがって} 飲んでください。
5. 私は父のアドバイスに {a. よって　b. したがって} 日本に留学することを決めました。

第9課 にたいして・について・にとって

ステップ1…… 動作の対象や方向、動作の及ぶ範囲、立場や観点を表す用法

1. 動作や作用が向けられる対象や方向を表す「にたいして」

「**にたい〔対〕して**」は「に向けて」の意味で、動作や作用が向けられる対象や方向を表します。「**にたいして**」のあとには、働きかけや態度、状態、感情を表す言葉が続きます（例1～3）。この時、「**にたいして**」は多くの場合、助詞「に」に置き換えられます。「に」は日常会話でよく使いますが、「**にたいして**」はあらたまった場面や書き言葉で使うことが多いです。「**にたいしまして**」は「**にたいして**」のていねいな形です（例4）。名詞を修飾する時は「**にたいする**」の形で使います。この場合は「に」に置き換えることはできません（例5）。

〔にたいして〕的意思是〔に向けて〕即“对于～”，用来表示行为、作用的对象或方向。一般在〔にたいして〕的后面接续表示作用、态度、状态、感情的词语（例1～3）。这时，多数场合下可以用〔に〕来替换〔にたいして〕，〔に〕多用于日常会话，而〔にたいして〕多用于正式场合和书面语中。此外，〔にたいしまして〕是〔にたいして〕的礼貌说法（例4）。〔にたいして〕修饰名词时，使用〔にたいする〕的形式，这种场合不能用〔に〕来替换（例5）。

●例文

1. 国際社会**に対して**日本が担う責任は大きい。
2. 山田先生は、すべての学生**に対して**公平です。
3. 彼女は、誰**に対して**も親切です。
4. 先生の熱心なご指導**に対しまして**、感謝の気持ちを表したいと思います。
5. 彼は、父親に対する態度と母親**に対する**態度が全然違います。

2. 動作の対象や状態の及ぶ範囲を表す「について」

「**について**」は「に関係して」の意味で、動作の対象や状態の及ぶ範囲、または言及の話題や題材を表します（例 6 ～ 9）。名詞を修飾する時は「**についての**」の形になります（例 10）。「**につきまして**」は「**について**」のていねいな形です。

〔について〕的意思是〔に関係して〕即 "关于～", 用来表示行为的对象、状态所涉及的范围以及所提到的话题、题材（例 6 ～ 9）。修饰名词的时候, 使用〔についての〕的形式（例 10）。〔につきまして〕是〔について〕的礼貌说法。

●例文

6. いろいろな国の教育制度**について**調べました。
7. その件**について**は、何も知りません。
8. 来年度の入学定員**について**、下記〔かき〕のように決定しました。
9. これらの商品の価格**につきまして**は、パンフレットをご覧ください。
10. 会合では、ごみ問題**についての**話し合いが行われました。

3. 人や組織の立場、物事を見る時の観点を表す「にとって」

「**にとって**」は「～の立場から見ると～」という意味で、人や組織の立場を表します（例 11 ～ 13）。また、「～の観点からすると～」という意味で、物事を見る時の観点を表す場合もあります（例 14、15）。「にとって」のあとには評価を表す言葉が続くことが多いです。「**にとりまして**」は「**にとって**」のていねいな形です（例 13）。

〔にとって〕的意思是“从～的立场来看～”的意思，表示个人或组织的立场（例 11 ～ 13）。此外，也有“从～的观点考虑～”的意思，表示对待事物的观点（例 14、15）。〔にとって〕的后面一般接续表示评价的词语。〔にとりまして〕是〔にとって〕的礼貌说法（例 13）。

●例文

11. 学生**にとって**いちばん大切なのは勉強です。
12. 王さんの退社は、会社**にとって**大きな損失です。
13. 私**にとりまして**は、2 年間の日本での生活は忘れられない思い出です。
14. 民族問題は、世界平和**にとって**最も重要な問題です。
15. 子供の教育**にとって**家庭の果たす役割は非常に大きい。

ステップ 2…… 使い分け

1.「にたいして」と「について」

「**にたいして**」と「**について**」は、置き換えても意味があまり変わらない場合と変わる場合とがあります。

これらの言葉の前に来る語が話題や題材を表す語で、あとに続く述語がその話題や題材への働きかけである

場合（例 16）や、主体が話題・題材に向けられた感情を表す場合（例 17）は、どちらを使ってもあまり意味が変わりません。

「**にたいして**」「**について**」の言葉の前に来る語が話題や題材としてだけでなく、働きかけの対象とも考えられる場合は、「**にたいして**」と「**について**」を置き換えると意味が異なります（例 18、19）。例 18 で「**にたいして**」を使うと、「学生」が働きかけの対象であり、学生に向かって学校の規則を説明したという意味になります。「**について**」を使うと、「学生」が話題や題材であり、新任の先生にその担当する学生のことを説明したというような意味になります。また、例 19 で「**にたいする**」を使うと、抗議の対象が「彼」であり、「**についての**」を使うと、「抗議文書」の題材が「彼」であることを表します。

〔にたいして〕与〔について〕互换后句子的意思有时相同，有时不同。

出现在这两个词之前的语句是表示话题、题材，后半句的谓语句是表示对该话题、题材产生作用的场合（例 16），以及表示行为的主体对话题、题材所投入的感情的场合（例 17），〔にたいして〕〔について〕互换后的意思没有变化。

如果出现在〔にたいして〕〔について〕之前的语句不仅仅是表示话题、题材，还可以看作是表示行为的对象的场合，用〔にたいして〕与〔について〕所表达的意思有所不同（例 18、19）。例 18 中如果使用〔にたいして〕，意思是“学生”是行为的对象，向学生说明学校的规则。如果使用〔について〕，“学生”是话题、题材，意思是向新上任的老师介绍学

生的情况。例 19 中如果使用〔にたいする〕, 抗议的对象是"他", 如果使用〔についての〕, "抗议书"的题材是"他"。

●例文

16. 先生は、その質問**に対して／について**、すぐに回答しました。
17. 学費値上げの計画**に対して／について**、学生たちは猛反対しています。
18. 学生**に対して／について**説明しました。
19. 私は彼**に対する／についての**抗議文書を書いています。

2.「にたいして」と「にとって」

「**にたいして**」「**にとって**」の前に来る語が人や組織を表す語で、働きかけの対象とも立場とも考えられる場合、「**にたいして**」と「**にとって**」のどちらも使えますが、意味が変わります（例 20）。「**にたいして**」を使う場合、「学生」は働きかけの対象であり、「学生に向かって教える」という意味になります。「**にとって**」を使う場合、「学生の立場からみて最もわかりやすい方法で教える」という意味になります。

出现在〔にたいして〕〔にとって〕之前的语句是人或组织, 而它既可以看作是行为的对象, 又可以看作是说话时所处的立场时, 〔にたいして〕与〔にとって〕都可以使用, 但意思上有所不同（例 20）。使用〔にたいして〕, 表示"学生"是行为的对象, 意思是"向学生教授"。如果使用〔にとって〕,意思是"采用从学生的立场来看最容易理解的方法来教"。

●例文

20. 先生は学生**に対して**／**にとって**最もわかりやすい方法で教えなければならない。

3.「にたいして」と「について」を同じ文中で同時に使う場合

「**にたいして**」と「**について**」の両方を使って、働きかけの対象と話題や題材がそれぞれ何であるかを区別して明示することもあります（例21、22）。

有时可以在同一个句子里同时使用〔にたいして〕〔について〕，分别明示行为的对象和话题、题材（例21、22）。

●例文

21. 張先生は王先生**に対して**、授業の進め方**について**助言〔じょげん〕しました。
22. 大学入試に失敗したこと**について**、高校の教師**に対して**文句を言うのは間違っています。

ステップ3…… 割合を表す「にたいして」

「**にたいして**」は、数量を表す言葉に接続して割合を表すこともあります。「**につき**」に置き換えることもできます（例23、24）。

名詞を修飾する形は「**にたいする**」です。「**にたいしての**」を使うこともあります（例25）。この場合、「**につき**」に置き換えることができません。

〔にたいして〕还可以接在表示数量的词后面，表示所占的比例。这种场合可以与〔につき〕互换（例23、24）。

修饰名词的时候，用〔にたいする〕的形式。也可以用〔にたいしての〕的形式（例 25），这种场合不能用〔につき〕替换。

●例文

23. 最近では、100 万円の預金**に対して／につき**、年 1,000 円程度の利子しかつきません。
24. 1 カップの米**に対して／につき**、1.2 カップの水を加えます。
25. 受験者全員**に対する／に対しての**合格者の比率を合格率と言います。
〈誤：につき〉

☞「**につき**」は、「という理由で」の意味で通知文〔つうちぶん〕や掲示〔けいじ〕などで使うこともあります。

〔につき〕有时用于通知或布告的文章中，表示“基于～的理由”的意思。

●例文

A. 〈欠席届〉会議当日は出張中**につき**、欠席いたします。
B. 〈掲示〉雨天**につき**、本日の試合は中止。
C. 〈看板〉出入口**につき**駐車禁止。
D. 〈広告〉開店セール**につき**、全品 2 割引き。

練習問題

正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 山田さんは気功に {a. 対して　b. ついて　c. とって} 研究しています。

2.「母の日」は、母親に {a. 対する　b. ついての　c. とって} 感謝の気持ちを表す日です。
3. 先生に進学に {a. 対する　b. ついての　c. とって} 相談をしました。
4. あの会社の経営状況に {a. 対して　b. ついて　c. とって}、知っていることがあったら、教えてください。
5. 医者が手術をする時は、患者の意志を尊重するため、患者本人に {a. 対して　b. ついて　c. とって} 手術の説明をしなければなりません。
6. 李先生は張先生の手術を手伝うことになりました。張先生は患者に {a. 対して　b. ついて　c. とって} 李先生に説明しました。
7. 社員たちは労働条件の改善に {a. 対して　b. ついて　c. とって}、経営者に {a. 対して　b. ついて　c. とって} 意見書を提出しました。
8. もうすぐサッカーの試合が始まります。試合の前に、監督が今日の作戦に {a. 対して　b. ついて　c. とって}、選手たちに {a. 対して　b. ついて　c. とって} 話をしました。
9. 教師は学生に {a. 対して　b. ついて　c. とって} 将来役に立つことを教えるべきです。
10. この券1枚に {a. 対して　b. つき　c. とって}、50円の割引きをします。
11. 労働力人口に {a. 対する　b. ついての　c. とって} 失業者の割合を「失業率」と呼びます。
12. 日本経済の不振はアジア諸国に {a. 対して　b. ついて　c. とって} も重大な影響を与えた。
13. 劉さんの意見に {a. 対して　b. ついて　c. とって} 何か質問はありますか。
14. 日本語の勉強は、私に {a. 対して　b. つき　c. とって} 日本文化を理解するためのよい機会になりました。
15. 私に {a. 対して　b. つき　c. とって} 最も大切なのは家族の幸せです。

第10課 をつうじて・をとおして

ステップ1…… 媒介や手段を表す用法

「**つう〔通〕じて**」「**とお〔通〕して**」はそれぞれ動詞「つうじる」「とおす」の「て形」です。

「とおす」は、「一方から他方へ届かせる、先へ進ませる」という意味を表し、「針に糸を通す」「応接間にお客さんを通す」というように使います。したがって、「**をとおして**」は、光や音などが窓や壁を通過したり、経由したりする場合に使います（例1～3）。また、顕微鏡やレンズなどを媒介にして、その向こうの物事を見る時にも使います（例4、5）。

「つうじる」は、「一方から他方へつなぐ、つながりを付ける」という意味を表し、「電話が通じた」「私の日本語が日本人に通じた」というように使います。

「ある人の紹介で」「ある人を経由して」という意味を表す時、「**をつうじて**」「**をとおして**」はほとんど同じように使います。どちらも誰かが媒介者として存在します（例6～8）。また、ある目的を果たすための手段を表す時も、「**をつうじて**」「**をとおして**」はほとんど同じように使います（例9）。例9では、「日本の高校生の日常生活を写した写真」を見ることが「日本文化に対する理解を深める」ための手段になります。

〔つうじて〕〔とおして〕分别是动词〔つうじる〕〔とおす〕的〔て形〕。

〔とおす〕的意思是“从一头传到另一头、向前行进”，

如〔針に糸を通す〕即“把线穿过针眼”、〔応接間にお客さんを通す〕即“把客人带到客厅”等。因此,〔をとおして〕一般用于表示光、声音等透过窗户、墙壁等或“经过～”之意（例1～3)。也可以用于表示通过显微镜或镜片等媒介工具去看其另一方的事物的场合（例4、5)。

〔つうじる〕的意思是“把一方和另一方连接起来”,如〔電話が通じた〕即“接通了电话”、〔私の日本語が日本人に通じた〕即“日本人听懂了我的日语”等。

表示“通过某人的介绍”“通过某人～”的意思时,〔をつうじて〕〔をとおして〕都可以使用,二者都是把人作为媒介（例6～8)。表示为达到目的所使用的手段时,〔をつうじて〕〔をとおして〕也都可以使用（例9)。例9的意思是把看〔日本の高校生の日常生活を写した写真〕即“描写日本高中生的日常生活的照片”作为〔日本文化に対する理解を深める〕即“加深对日本文化理解”的手段。

●例文

1. 秋の日ざしが窓ガラス**を通して**入ってきている。〈誤：をつうじて〉
2. 壁**を通して**、隣の話し声が聞こえました。〈誤：をつうじて〉
3. 煙は換気孔**を通して**外に排出されます。〈誤：をつうじて〉
4. 顕微鏡**を通して**見た微生物の世界はとても面白いです。〈誤：をつうじて〉
5. カメラのレンズ**を通して**、子供の可愛い笑顔が見えます。〈誤：をつうじて〉
6. 田中先生**を通じて／を通して**、本田先生を紹介していただきました。
7. その件は、田中先生**を通じて／を通して**本田先生に伝えました。
8. あの大先生を動かすには、人**を通じて／を通して**依頼しないとなかなか難しいです。
9. 日本の高校生の日常生活を写した写真**を通じて／を通して**、日本文化に対する理解を深めることができました。

ステップ2…… 範囲を表す用法

ある範囲の全てにわたって初めから終わりまで、頁数や長さなど具体的な量を表す場合は「**をとおして**」を使います（例10、11）。例10は「第1巻から最終巻まで全部」という意味を表わし、例12は「一日に数幕上演される演目を全部」という意味を表します。これらの場合、「**をつうじて**」は使えません。

ある範囲が期間を表す場合は「**をつうじて**」「**をとおして**」の両方が使えますが、ニュアンスが違います。「**をとおして**」は、その期間の初めから終わりまでを全体として見ています。それに対し、「**をつうじて**」はその期間内のどの時間を切り取って見ても同じ状態や様子であることに重点があります。例14で「**をとおして**」を使う場合、「1月から12月を振り返ってみると、多い月もあったが、全体的に言えば雨が少なかった」というニュアンスです。「**をつうじて**」を使うと、「1月から12月までの間、どの月も雨が少なかった」というニュアンスになります。

〔をとおして〕可以用于表示贯通一个范围的全体，即从开始到结束为止的页数或长度等具体的量（例10、11）。例10的意思是“从第一卷开始到最后一卷为止的全部”，例12的意思是“一天中上演的多场节目的全部”。这些场合不能用〔をつうじて〕。

所指的范围是一段期间的场合，〔をつうじて〕〔をとおして〕都可以使用，但在意思上稍有区别。使用〔をとおして〕时是把这段期间的开始到结束作为一个整体来看，而使

用〔をつうじて〕意思是无论把这段期间内的哪一段单独拿出来看，都处于同样的状态或样子。如例 14，如果使用〔をとおして〕，表示“从 1 月到 12 月，虽然也有降雨多的月份，但整体说来降雨比较少”的意思，这里如果使用〔をつうじて〕，则表示“从 1 月到 12 月，无论哪个月份的降雨量都比较少”的意思。

●例文

10. 私は学生時代に三国志の全巻**を通して**読みました。〈誤：を通じて〉
11. その作者は、作品全体**を通して**戦争の悲惨さを描いています。〈誤：を通じて〉
12. 昨日は、国立劇場でオペラ全幕**を通して**見ました。〈誤：を通じて〉
13. 本田教授はひとりで学生全員の論文**を通して**読みました。〈誤：を通じて〉
14. 去年は 1 年**を通じて／を通して**雨の少ない年でした。
15. 中学高校**を通じて／を通して**、私の成績はビリから数えたほうが早かった。
16. さまざまな時代**を通じて／を通して**、庶民は信仰の対象を追い求めてきた。

練習問題

正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 受話器を {a. 通じて　b. 通して} 聞くと、友達の声がいつもと違って聞こえました。
2. 望遠鏡を {a. 通じて　b. 通して} 見ると、都会でもたくさんの星が見えます。
3. 私と田中さんは、劉さんを {a. 通じて　b. 通して} 知り合いました。
4. 多くの日本人との話し合いを {a. 通じて　b. 通して}、私の日本に対する印象は大きく変わりました。
5. 電車の切符は、出発地から目的地まで {a. 通じて　b. 通して} 買うのが便利です。

6. 天然ガスはその管を {a. 通じて　b. 通して} 工場に送られます。
7. 新入生の歓迎会に参加したい人は、事務所を {a. 通じて　b. 通して} 申し込んでください。
8. 王さん、第3課の第1段落から第3段落まで {a. 通じて　b. 通して} 読んでください。
9. 最近では、インターネットを {a. 通じて　b. 通して} 世界のさまざまな情報を得ることができます。
10. 李さんは1学期を {a. 通じて　b. 通して} 一度も授業を休みませんでした。

第1課 う・だろう・でしょう・よう

ステップ1…… 推量や疑問の気持ちを表す「だろう」

「**だろう**」は動詞や形容詞、助動詞の終止形や名詞などに幅広く付き、話し手の推量や疑問を表す時によく使います（例1～3）。この時、特に根拠がなくてもかまいません。また、副詞「おそらく」「たぶん」などといっしょに使うことが多いです。

「**だろう**」は、話し言葉でも書き言葉でも使います。ていねいに言う時は「**でしょう**」の形を（例4）、硬い文章では「**であろう**」の形をよく使います（例5）。

〔だろう〕可以广泛地接在动词、形容词、助动词的终止形以及名词的后面，表示说话人的推测和疑问（例1～3）。这时，并不需要有什么根据。此外，〔だろう〕还多与副词〔おそらく〕〔たぶん〕一起使用。

〔だろう〕既能用于口语也能用于书面语。在比较正式的会话中经常用〔でしょう〕（例4），在内容比较严肃的文章中经常用〔であろう〕的形式（例5）。

●例文……

1. 今日は天気がいいので、頂上まで登れば、たぶん富士山も見える**だろう**。
2. 贈り物にするなら、こちらの刺しゅうのハンカチがいい**だろう**。
3. こんな説明で学生にわかってもらえる**だろう**か。
4. 田中「李さんのおじいさんは若く見えますね」
   劉　「そうですね。でも、もう70歳は超えている**でしょう**」
5. 21世紀には必ず真の世界平和が訪れる**であろう**。

ステップ2……「う」「よう」の二つの用法

1. 書き言葉で推量を表す用法

推量を表す場合、助動詞「**だろう**」のほかに「**う**」も使います。「**う**」は形容詞に付く場合は「**かろう**」(例6)、五段活用の動詞に付く場合は「**～う**」(例7)、五段活用以外の動詞及び助動詞「れる」「られる」「せる」「させる」に付く場合は「**よう**」になります(例8)。例6～8のような推量を表す「**う**」「**よう**」は、主に書き言葉で使い、日常の会話ではあまり使いません。ステップ1で説明した「**だろう**」を使うのが普通です。

在表示推测的场合，除了使用助动词〔だろう〕，也可以使用〔う〕。〔う〕与形容词连接时为〔かろう〕(例6)，与五段活用的动词连接时为〔～う〕(例7)，与五段活用以外的动词及助动词〔れる〕〔られる〕〔せる〕〔させる〕连接时为〔よう〕(例8)。例6～8表示推测的〔う〕〔よう〕，主要用于书面语中，日常会话中很少使用。日常会话中通常使用在〔ステップ1〕中解释过的〔だろう〕。

●例文……

6. 東京の果物は高**かろうと**、故郷の母がリンゴを送ってくれました。
7. この詩は李白の代表作と言え**よう**。
8. 今回の政府の提案は、おそらく議会で否決され**よう**。

2. 話し手の意志や誘いかけ、申し出を表す用法

助動詞「**う**」「**よう**」は推量のほかに、意志（例 9 ～ 11）、誘いかけ（例 12 ～ 14）、申し出（例 15）を表す用法などがあります。会話では「**ましょう**」を使うこともあります（例 14）。ただし、これらはたいへん親しい人の間で使う表現なので、目上の人には使わないほうがいいでしょう。目上の人には「**ましょう**」の疑問形を使います（例 15）。

助动词〔う〕〔よう〕除用来表示推测之外,还有表示意志（例 9 ～ 11）、邀请（例 12 ～ 14）、提议（例 15）等用法。在日常会话中也用〔ましょう〕的形式（例 14）。但是这些都是在关系特别亲近的人之间使用的表达方式，对长辈或比自己身份高的人不宜使用。对方是长辈或比自己身份高的人要用〔ましょう〕的疑问句的形式（例 15）。

●例文

9. 明日は図書館に行こ**う**。
10. 大学を卒業したら、通訳になろ**う**と思います。
11. これから毎朝、6 時に起き**よう**。
12. 太郎「今日は何をして遊ぼ**う**か」
    次郎「公園でサッカーをやろ**う**」
13. 今日はみんなで餃子を食べ**よう**。
14. 途中までいっしょに帰り**ましょう**。
15. お忙しそうですね。お手伝いし**ましょうか**。

練習問題

（　　）の中の言葉に「だろう」「う」「よう」「ましょう」「でしょう」を正しい形で付けてください。

1. すみません、今、（何時　　）か。
2. 本田「どこで食事を（する　　）か」
   山口「あそこのレストランはどう？」
3. 先生、そのお荷物は私が（お持ちする　　）。
4. 田中「明日は（雨　　）か」
   李　「星が出ていますから、（晴れる　　）」
5. 私は一生懸命勉強して、将来は国連の機関で（働く　　）と考えています。
6. 〈論文〉この問題は重視する必要が（ある　　）。
7. ほかにやる人がいなければ、その仕事は私が（やる　　）。
8. 〈論文〉日本の人口はこれからも減少し（続ける　　）。
9. 私は彼の言葉を（信じる　　）と思います。
10. 物価はこれからも（上がる　　）と言われています。

第2課 そうだ・ようだ・らしい

ステップ1…… 推量を表す「ようだ」「らしい」、様態または伝聞を表す「そうだ」

1. 話し手の主観的な推量を表す「ようだ」、客観的な推量を表す「らしい」

「**ようだ**」は、ある事柄について自分の視覚、聴覚、味覚、触覚などの身体的感覚に基づいて主観的に推量して述べる言い方です（例1～5）。例1、2は視覚、例3は聴覚、例4は味覚、例5は触覚によって推量しています。また、「**ようだ**」は、自分自身の体の状態や感覚を推量して述べる場合にも使うことができます（例6）。「**らしい**」は、ある事柄について外部からの客観的な情報を根拠に推量して述べる言い方です。自分自身の直感ではなく、ある程度論理的に判断したことを表します（例7～10）。

推量の「**ようだ**」と「**らしい**」は置き換えられる場合がほとんどです。ただし、例9、10で、「**ようだ**」を使うと自分の目で見た判断を表し、「**らしい**」を使うとほかからの情報をもとに判断していることを表します。

〔ようだ〕用来表示说话人通过自己的视觉、听觉、味觉、触觉等身体各部分的感觉对事物进行的主观上的推测（例1～5）。例1、2表示通过视觉、例3表示通过听觉、例4表示通过味觉、例5表示通过触觉的推测。〔ようだ〕还可以用来推测自己的身体状态或感觉（例6）。〔らしい〕用来表示通过外部的客观信息对事物进行的推测。这时的推测不是凭自己的直觉，而是较有一定理论根据的判断（例7～10）。

表示推测的〔ようだ〕与〔らしい〕在多数情况下可以互换。但是，例 9、10 中，如果用〔ようだ〕则表示亲眼看过之后做出的判断，如果用〔らしい〕则表示通过外来的信息做出的判断。

●例文

1. 彼とは以前どこかで会った**ようです**。
2. だいぶお疲れの**ようです**ね。
3. 雨だれの音がしますね。どうも外は雨が降っている**ようです**。
4. 一口飲んでみましたが、このスープはいつもよりちょっと辛い**ようです**。
5. 触ってみると、確かにカシミヤ〔山羊毛〕のセーターの**ようです**ね。
6. どうも風邪をひいてしまった**ようです**。
7. 説明書によると、このビタミン剤は二日酔いにもきく**らしい**。
8. 経済誌によると、このまま日本の不景気が続けば、あの大手会社の経営も危なくなる**らしい**。
9. あの人は朝鮮族ではない**ようです／らしいです**。
10. 先生はお酒がお好きな**ようです／らしいです**ね。

2. 直前の状態や可能性、外からの様子を表す「そうだ」

動詞の連用形や形容詞、形容動詞の語幹に付く「**そうだ**」は、物事が起こる直前の状態（例 11、12）や起こる可能性の高い状況（例 13、14）、あるいは外から見た物事の性質や状態（例 15、16）について、話し手が直感的または主観的な判断で述べる時の言い方です。

この様態の「**そうだ**」と推量の「**ようだ**」は、例 17、18 のように置き換えられる場合もありますが、意味が異なります。例 18 で、「**そうだ**」を使うと、「来ている」ことを予感として話し手が漠然と述べているのに

対し、「**ようだ**」を使うと「来ている」と直感させる何らかの根拠によって話し手が推量していることになります。

〔そうだ〕接在动词的连用形以及形容词、形容动词的词干后面，表示说话人对眼前某事物即将发生的状态（例 11、12）以及某事物处于发生的可能性比较高的状况（例 13、14）或从外面看上去的某事物的性质、状态（例 15、16）等进行的主观、直观的判断。

表示样态的〔そうだ〕与表示推测的〔ようだ〕有时如例 17、18 所示可以互换，但在意思上有所不同。例 18 中如果用〔そうだ〕时，〔来ている〕表示的是说话人模糊的预感，并没有什么实际根据，如果用〔ようだ〕时，〔来ている〕表示的则是说话人做出的有所根据的推测。

●例文

11. 空が暗くなってきました。今にも雨が降り**そうです**。
12. 強風で街路樹が倒れ**そうだった**。
13. 来年はもっと物価が上がり**そうです**。
14. 今夜は涼しいので、よく眠れ**そうです**。
15. このパンはおいし**そうです**ね。
16. その包丁はよく切れ**そうです**ね。
17. あの人は朝鮮族ではなさ**そうです**／ない**ようです**。
18. もう誰かが先に来てい**そうです**／いる**ようです**ね。

3. 間接的に知った情報を表す「そうだ」

動詞、形容詞、形容動詞及び助動詞「ない」「だ」の終止形に付く「**そうだ**」は、外部からの情報をそのまま伝える言い方です。

伝聞の「**そうだ**」と推量の「**らしい**」は、置き換えられる場合がほとんどです（例 19 ～ 23）。意味もほぼ同じですが、「**そうだ**」を使うと外部から聞いたことをそのまま伝えているのに対し、「**らしい**」を使うと外部から得た情報に基づいて話し手が判断したことを述べています。

〔そうだ〕接在动词、形容词、形容动词以及助动词〔ない〕〔だ〕的终止形之后，用来原原本本地叙述从外部得来的信息。

表示传闻的〔そうだ〕与表示推测的〔らしい〕在一般场合下都可以互换（例 19 ～ 23）。意思上也几乎没有区别，但〔そうだ〕是把从外部得来的信息原原本本地进行叙述，而〔らしい〕叙述的是说话人根据从外部得来的信息做出的判断。

●例文

19. 天気予報を聞いたのですが、明日は雨**だそうです／らしいです**よ。
20. 先生の話によると、日本では携帯電話を持っている高校生が多い**そうです／らしいです**。
21. 李さんから聞きましたが、金さんと朴さんが来年結婚する**そうです／らしいです**よ。
22. あの人は朝鮮族ではない**そうです／らしいです**。
23. 金さんは今日は学校に来ない**そうです／らしいです**。

ステップ2…… 「ようだ」「らしい」のその他の用法

1. 比況の「ようだ」

「**ようだ**」は、ある物事を別の似ている物事にたとえて述べる場合にも使います（例24～27）。この比況の「**ようだ**」は、推量の「**ようだ**」と形の上では区別しにくい場合もありますが、比況（例27）には「まるで」が付きやすいのに対して、推量（例28）には「どうも」「どうやら」などの副詞が付きやすいという違いがあります。

〔ようだ〕还可以用来把某事物比喻成其他与其接近的事物(例24～27)。比喻用法的〔ようだ〕与推测用法的〔ようだ〕在形式上有时很难区别,但比喻用法的〔ようだ〕(例27)多与〔まるで〕一起使用, 而推测用法的〔ようだ〕(例28)多与〔どうも〕〔どうやら〕等副词一起使用。

●例文……

24. 白い砂浜がとてもきれいです。まるで雪が積もった**ようです**。
25. 昼休みになると、学生たちはまるで飛ぶ**ように**食堂に走って行きます。
26. まだ4月なのに真夏の**ような**暑さです。
27. あの人はまるで外国人の**ようです**。
28. あの人はどうも外国人の**ようです**。

2. 例示の「ようだ」

「**ようだ**」は、ある事柄を同類の事柄の一例として具体的に示す場合にも使います。この場合、「まるで」をいっしょに使うことはできません。

〔ようだ〕也可以用来把某事物作为同类事物中的一个具体例子进行说明。这种场合不能与〔まるで〕一起使用。

●例文

29. 今日の**ように**天気のいい日には散歩をすることにしています。
30. 先生の**ように**日本語が上手になりたいです。
31. 北京の**ような**大都市では年々交通事故が増えています。
32. 親を泣かせる**ような**ことをしてはいけません。

3. 典型的な性質を表す「らしい」

「**らしい**」は名詞のあとに付き、その物事の典型的な性質が現れていることを表す場合があります。この場合、比況の「**ようだ**」と置き換えられることもありますが、意味は全く異なります。例35で「**らしい**」を使うと、「まさに男と呼ぶにふさわしい男の人」という意味になりますが、「**ようだ**」を使うと、「行動の仕方、性格などが男の人と同じに見える女の人」という意味になります。また、典型的な性質を表す「**らしい**」は推量の「**らしい**」と形の上では区別しにくい場合もありますが、典型的な性質を表す「**らしい**」（例36）は「いかにも」「まさしく」などの副詞が付きやすく、推量の「**らしい**」（例37）には「どうも」「どうやら」などの副詞が付きやすいという違いがあります。例38、39のように否定形にすると、その違いがよりはっきりします。

〔らしい〕也可以接在名词之后，表示该名词所指事物的特有的性质。这种场合有时可以与表示比喻的〔ようだ〕

互换，但在意思上完全不同。例35中，用〔らしい〕的意思是“可以称为真正的男子汉、堂堂正正的男子汉”，而如果用〔ようだ〕意思则是“动作、性格等象男人的女人”。此外，表示特有性质用法的〔らしい〕与表示推测用法的〔らしい〕在形式上有时很难区别，但表示特有性质用法的〔らしい〕(例36) 常常与〔いかにも〕〔まさしく〕等副词一起使用，表示推测用法的〔らしい〕(例37) 常常与〔どうも〕〔どうやら〕等副词一起使用。如果是否定句（例38、39），两种用法的区别就比较明显了。

●例文

33. 今日は春**らしい**天気ですね。
34. 最近は雨**らしい**雨が降っていません。
35. あの人は男**らしい**／**のような**人です。
36. あの人はいかにも男**らしい**。
37. あの人はどうやら男**らしい**。
38. あの人は男**らしく**ない。
39. あの人は男ではない**らしい**。

ステップ3…… 婉曲を表す「ようだ」「らしい」

「**ようだ**」「**らしい**」は、はっきり断定することを避けて婉曲に表現する時にも使います。例40のように、みんなが反対していることがはっきりわかっていても、相手への配慮から断定を避けて表現するような場合です。例41のように、「その話題に関心がない、関わりたくない」というような時にも、「**ようだ**」「**らしい**」

を使って断定を避けた表現をすることがあります。

〔ようだ〕〔らしい〕也可以用于避免对某事做出明确的断定而委婉地进行表达的场合。例 40 是即使知道大家都反对，出于照顾对方心情的原因，而避开了明确的断定的表达方式。再如例 41，对该话题没有兴趣或不想参与该话题的时候，也可以用〔ようだ〕〔らしい〕来回避明确地表态。

●例文

40. 先生、クラスのみんなは今度の企画に反対の**ようです／らしいです**よ。
41. 社員 1「今度、社長が代わるそうだよ」
    社員 2「**そのようだ／そうらしい**ね」

練習問題

〈ステップ 1〉 正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 妻「洗濯物はもう乾いた？」
   夫〈洗濯物を触りながら〉「だいたい乾いた {a. ようだ　b. らしい} よ」
2. さっきからあくびばかりして、あなたは疲れている {a. よう　b. らしい} ですね。
3. この本を少し読んでみましたが、どうも私には難しすぎる {a. よう　b. そう} です。
4. 母からの手紙によると、この夏私の故郷は雨が多い {a. そう　b. らしい} です。
5. あの二つのコンピューターを使ってみましたが、右のコンピューターのほうが使いやすい {a. よう　b. らしい} です。
6. 天気予報によると、明日は雪が {a. 降り　b. 降る} そうです。
7. あ、壁の絵が {a. 落ち　b. 落ちる} そうですよ。気をつけてください。
8. この靴は、見たところ、ちょっと {a. 小さ　b. 小さい} そうです。

9. 山田さんに聞いた話では、李さんは {a. 元気　b. 元気だ} そうです。
10. 台風が来た時、庭の大きな木が {a. 倒れ　b. 倒れる} そうで、怖かったです。

〈ステップ2・3〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. あの子はまだ10歳なのに落ち着いていて、大人 {a. のよう　b. らしい} です。
2. あなたは若いのだから、そんな地味な服はやめて、もっと若者 {a. のような　b. らしい} 服を着たほうがいいです。
3. 空は青いし紅葉もきれいだし、今日は秋 {a. のような　b. らしい} いい日です。
4. 故宮〔こきゅう〕博物館 {a. のように　b. らしい} 規模の大きい文化財は管理が大変です。
5. 山口「鈴木さんは、試験に失敗したそうですね」
   中野「ええ、{a. そのよう　b. そうらしい} ですね」

第3課　たい・たがる

ステップ1…… 希望を表す

1. 話し手の希望を表す「たい」

「**たい**」は、基本的に話し手の希望を表します（例1～5）。ただし、「**たい**」が前節（句）の中にある場合（例6、7）、あるいは推量や伝聞の助動詞（「ようだ」「だろう」「らしい」「そうだ」など）や「のだ」「はずだ」「～と言っている」などが続く場合（例8～10）は、話し手以外の人の希望を表すことができます。「**たい**」を使って希望を表す時、希望する対象物は助詞「が」か「を」で示します（【対象を表す助詞「が」と「を」】246頁参照）。

〔たい〕一般用来表示说话人的愿望（例1～5）。但如果〔たい〕出现在句子的前半句（例6、7），或者接在表示推测或传闻的助动词〔ようだ〕〔だろう〕〔らしい〕〔そうだ〕等以及〔のだ〕〔はずだ〕〔～と言っている〕等词句前面的时候，用来说明除说话人以外的人的愿望。用〔たい〕来表示愿望的时候，一般用助词〔が〕或〔を〕来连接愿望的对象（参照【对象を表す助詞「が」と「を」】246页）。

●例文……

1. （私は）テレビが見**たい**です。
2. 私は将来、旅行ガイドになり**たい**です。
3. 早く家へ帰って、お風呂に入り**たい**ですね。
4. いつか宇宙旅行をしてみ**たい**ですね。
5. これから会議を始め**たい**と思います。まず部長のお話から……。

6. このビデオを見**たい**のなら、テープを貸してあげましょう。
7. 彼は泣き出し**たい**のをこらえて〔忍着眼泪〕、怒ったように言いました。
8. どうやら彼はアメリカに留学し**たい**らしいです。
9. 彼女も金融機関に就職し**たい**はずです。本人に確認してみましょう。
10. 劉さんも張国栄〔ちょうこくえい〕が大好きです。『覇王別姫〔はおうべっき〕』の映画が／を見**たい**と言っていました。
11. のどが渇きました。水が／を飲み**たい**です。
12. ああ、おいしいラーメンが／を食べ**たい**なあ。

2. 第三者の希望を表す「たがる」

「**たがる**」は第三者の希望を表します。「**たがる**」は動詞と同じ働きをしますから、希望の対象物を示すには助詞「を」を使います（例13、14）。

〔たがる〕表示第三者的愿望。因为〔たがる〕的词性相当于动词，所以说明愿望的对象时，必须用助词〔を〕（例13、14）。

●例文

13. 子供たちはテレビを見**たがっ**て、ちっとも寝ようとしません。
14. 私の息子はデパートへ行くといつもおもちゃを買い**たがる**ので、困ります。
15. 北京を訪れる観光客は、まず万里〔ばんり〕の長城〔ちょうじょう〕へ行き**たがり**ます。
16. 昨夜のダンスパーティーでは、たくさんの男性が李さんと踊り**たがり**ました。
17. 張さんは日本で勉強し**たがっ**ています。

ステップ2…… 形容詞、形容動詞に付く「〜がる」

接尾語の「**〜がる**」は、感情や感覚を表す形容詞や形容動詞に付いて動詞の形を作ります。「**〜がる**」は、外から見てわかる、第三者の感情や感覚を表す時に使います。

感情を表すものには、「おもしろがる」「悲しがる」「悔しがる」「怖がる」「寂しがる」「恥ずかしがる」「欲しがる」「珍しがる」「嫌がる」「不思議がる」「迷惑がる」「残念がる」などがあります。

感覚を表すものには、「暑がる」「寒がる」「痛がる」「苦しがる」「かゆがる」などがあります。

接尾词〔〜がる〕还有一种用法是，接在表示情感、感觉的形容词、形容动词之后，当做动词使用。这种场合下的〔〜がる〕表示从旁观者的角度看到的第三者的感情或感觉。

表示情感的用法有〔おもしろがる〕〔悲しがる〕〔悔しがる〕〔怖がる〕〔寂しがる〕〔恥ずかしがる〕〔欲しがる〕〔珍しがる〕〔嫌がる〕〔不思議がる〕〔迷惑がる〕〔残念がる〕等。

表示感觉的用法有〔暑がる〕〔寒がる〕〔痛がる〕〔苦しがる〕〔かゆがる〕等。

●例文……

18. スーパーで女の子がお菓子をほし**がっ**て泣いていました。
19. 張さんは日本語を勉強してからまだ1年ぐらいしかたっていないのに、もう日本人のように上手に話せるので、みんな不思議**がっ**ています。
20. 今日は雪が降っているので、息子は寒**がっ**て、外へ行こうとしません。
21. 注射をすると、その赤ちゃんは痛**がっ**て大きな声で泣き出しました。

練習問題

{ } の中を「～がる」の正しい形に変えてください。

1. 昨日、山田さんに会いました。山田さんは陳さんにも {会いたい}。
2. 妹は、その店の前を通るといつもジュースを {飲みたい}。
3. 母は、父が煙草〔たばこ〕を吸うと、いつも {いやだ} 窓を開けます。
4. 〈医者への電話〉娘が高い熱を出して {苦しい} ので、すぐ来てくださいませんか。
5. 動物園でトラを見た劉さんは、{怖い} 近くへ行きませんでした。
6. 妹が中国のドラマを {見たい} ので、張さんに頼んでビデオを送ってもらおうと思います。
7. 先週のパーティーの時、田中さんは王さんに会えなくてとても {残念だ}。
8. あの人はよく夜中に友達と騒ぐので、近所の人たちに {迷惑だ} ています。
9. 息子は知らない人に会うといつも {はずかしい}、あいさつもしません。
10. 祖父は私が遊びに行くと、いつもとても {うれしい}。

第4課　にきまっている・にちがいない・にほかならない

ステップ1…… 限定を表す「にほかならない」、確信を表す「にきまっている」「にちがいない」

1. 強く限定する「にほかならない」

「**にほかならない**」は「～以外のものではない」「まさに～だ」という意味で、複数の物事のうち、ある物事を一つだけ強く限定し、ほかの物事を否定する表現です。書き言葉でよく使います。

〔にほかならない〕是“除了～以外都不是”“正是～”的意思，用于限定众多事物中的其中一个，而对其他都予以否定。用于书面语中。

●例文……

1. 今回の優勝は、選手の努力の結果**にほかなりません**。
2. 会場の大きな拍手は、もう1曲聴きたいという聴衆の願望の表れ**にほかなりません**でした。
3. 私に話してくれないということは、私を信用していないということ**にほかなりません**。
4. 親が子供を厳しく育てるのは、その子供を愛しているから**にほかなりません**。

2. 直感的な確信を表す「にきまっている」「にちがいない」

「**にき〔決〕まっている**」「**にちがいない**」は、経験などによる直観的な確信を表す言い方です。「**にちがいない**」はあらたまった場面や書き言葉で、「**にきまって**

いる」は日常会話でよく使います。どちらも副詞「きっと」とともに使うことが多いです。

例5～7は「**にちがいない**」と「**にきまっている**」を置き換えることができますが、「**にきまっている**」を使ったほうが確信度が高く、「必ず～」「言う必要もないくらい確実に～」という意味になります。例8、9は店や交通の状況を見て、「おそらくおいしいのだろう」「おそらく事故があったのだろう」と推測しているので、「**にきまっている**」を使うと確信度が強すぎて少し不自然になります。

〔にきまっている〕〔にちがいない〕是表示根据经验等让人从直觉上感到确信的说法。〔にちがいない〕一般用于正式场合和书面语中，〔にきまっている〕一般用于日常会话。两者都常与副词〔きっと〕一起使用。

例5～7中，〔にちがいない〕与〔にきまっている〕可以互换，但相对来说，〔にきまっている〕表达的确信度更高一些，表示“一定～”“没有说的必要，绝对确定～”的意思。例8、9是根据眼前的饭店和交通的状况等客观条件而做出“大概好吃吧”“大概发生交通事故了吧”的推测，如用〔にきまっている〕就显得确信度过高而不自然了。

●例文……

5. 張さんのようないい成績なら、きっと大学に合格する**にちがいありません／に決まっています。**
6. こんなひどいことをするのは、あの人**にちがいありません／に決まっています。**
7. こんな安いダイヤはにせもの**にちがいありません／に決まっています。**
8. お客さんがたくさん入っているから、あそこのレストランはおいしい**にちがいありません。**
9. 道路が渋滞〔じゅうたい〕していて、さっき救急車が通りました。事故があった**にちがいありません。**

ステップ2…… 「にきまっている」「にほかならない」の特別な用法

1. 名詞を修飾する「ほかならない」

「**ほかならない**」には名詞を修飾する用法があります。これは、「話し手にとって特に重要な～」という意味を表します。古い言い方の「ほかならぬ」を使う時もあります。

〔ほかならない〕还可以修饰名词来表达“对说话人来说尤其重要的～”的意思。这种场合有时也用旧式的说法〔ほかならぬ〕。

●例文……

10. 家族の病気のような**ほかならない／ほかならぬ**事情の場合は、仕事を休んでもかまいません。
11. **ほかならない／ほかならぬ**李さんの頼みだから、引き受けましょう。

2. 当然であることを表す「にきまっている」

「**にきまっている**」は、一般的に正しいと思われている社会通念や常識について、「当然～だ」という意味で使います。

〔にきまっている〕用来说明一般被认为是正确的社会惯例或常识，意思是“当然～”。

●例文

12. お金はないより、あるほうがいい**に決まっています**。
13. 地震は誰でも怖い**に決まっています**。
14. ベンチに財布を置いておいたら、盗まれる**に決まっています**。

3. 決定されることを表す「にきまっている」

「**にきまっている**」は、本来の動詞の意味から、「決定されている」という意味で使うこともあります。

根据〔にきまっている〕本来的动词意思，有时也用来表示“已被决定”的意思。

●例文

15. 次の学生会長には加藤さんがなること**に決まっています**。
16. 試験の日は来週の水曜日**に決まっている**のですから、早めに準備をしたほうがいいですよ。

練習問題

正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 劉さんは子供の時からピアノを習っていたそうだから、ピアノが上手に {a. ちがいありません　b. 決まっています}。
2. この指輪をプレゼントしたら、妻は喜ぶに {a. ちがいありません　b. ほかなりません}。
3. 〈新聞で〉この調査結果を見た専門家は、「今後も人口が減少する傾向は続くに {a. ちがいない　b. 決まっている}」と述べた。
4. 私をここまで育ててくれたのは両親に {a. ちがいありません　b. ほかなりません}。
5. 地球の環境を破壊したのは人間に {a. ちがいありません　b. ほかなりません}。
6. これは私が探していた本に {a. 決まっています　b. ほかなりません}。やっと見つけることができて、本当にうれしいです。
7. {a. ほかならない　b. ちがいない} 陳さんの意見だから、もう一度よく検討〔けんとう〕してみましょう。
8. 社員1「昨日、部長に怒られてしまいました」
   社員2「大事な会議に遅刻したのだから、怒られるに {a. ちがいありません　b. 決まっています} よ。
9. 日本では、物を買った時、消費税を払うことに {a. ちがいありません　b. 決まっています}。
10. 会の規則によって、毎年12月に総会が開かれることに {a. ほかなりません　b. 決まっています}。

第5課 はずだ・はずはない・わけだ・わけはない

ステップ1…… 客観的事実から必然的に引き出される結論を表す用法

1. 論理的に導き出された結論を説明する「わけだ」

「**わけだ**」は、ある客観的な事実から論理的に導き出された結論を説明したり、解釈したりする時に使います。

〔わけだ〕可以用来对根据客观事实推理出来的结论进行进一步的说明、解释。

●例文……

1. 彼はアメリカのパスポートを持っています。つまり、アメリカ人の**わけです**。
2. 李さんは成績が学校で1番でした。それで、奨学金がもらえた**わけです**。
3. 王さんのお母さんと張さんのお母さんは姉妹〔しまい〕だそうです。つまり、王さんと張さんはいとこ同士という**わけです**。
4. 現在の気温は25度です。昨日の最高気温が18度でしたから、すでに7度も高い**わけです**。
5. 李　「山田さん、遅いですね」
   佐藤「ええ、歯医者に行くと言っていましたから」
   李　「ああ、それで遅い**わけですね**」
6. 荷物が規定より10キロも多かったです。それで、超過料金を払わされた**わけです**。
7. 今は円高です。だから、輸入品がこんなに安い**わけです**。

2. 確信度の高い推測や予定を表す「はずだ」

「**はずだ**」は、ある客観的事実をもとに「当然こうである」と話し手が判断した結果を表します（例 8 ～ 10）。確信度のかなり高い、誰でも納得できるような推測を述べる時によく使います。また、「**はずだ**」は未来の出来事について、客観的事実をもとに「私の推測ではそうなる」という個人的な予想を表します。その時、「そうなってほしい」という話し手の期待が込められることもあります（例 11 ～ 14）。「**～たはず**」という形で過去について述べる時は、確信をもって過去のことを推測したり（例 16）、確信していたことが現実とは違うことを表したりすることがあります（例 17）。

また、「**はずだった**」「**はずではなかった**」は、「現実が予定通りではなかった、予定が実現されなかった」ことを表します（例 18、19）。その場合、話し手の意外に思う気持ちや残念に思う気持ちが伴います。「**はずではなかった**」は、日常会話では、「**はずじゃなかった**」という形になることがあります（例 20）。「**わけだ**」は予想を表すことができないので、例 8 ～ 20 では「**わけだ**」は使えません。

〔はずだ〕用来表达说话人以客观事实为根据对某事作出的“理所当然的”判断结果（例 8 ～ 10）。常用于表达确信度比较高，任何人都能赞同的推测。〔はずだ〕用于说明还未发生的事情时，表示说话人以客观事实为根据做出的推测，即“我认为将～”，这时说话人的推测中有时包含“我希望将～”的期待心理（例 11 ～ 14）。〔～たはず〕的形式用来表示对过去的事情进行推测（例 16），或表示实际发生的状况与事先所确信的状况有所不同（例 17）。

此外,〔はずだった〕〔はずではなかった〕用来表示现实状况没有象事先预想的那样发生,事先预想的结果没有得以实现(例 18、19)。这种场合含有说话人感到意外和遗憾的心理。〔はずではなかった〕在日常会话中有时用〔はずじゃなかった〕的形式(例 20)。〔わけだ〕不能用来表示推测,因此例 8 ～ 20 中不能用〔わけだ〕。

●例文

8. 今は円高です。だから、輸入品がきっと安い**はずです**。〈誤:わけだ〉
9. 佐藤「王さんはもう帰りましたか」
   李 「自転車があるから、まだいる**はずです**」〈誤:わけだ〉
10. 1 週間前に手紙を出しました。だから、もう届いている**はずです**。〈誤:わけだ〉
11. 雨が降ったら涼しくなる**はずです**。〈誤:わけだ〉
12. 毎日勉強してください。そうすれば、きっと合格する**はずです**。〈誤:わけだ〉
13. この薬を飲めば熱が下がる**はずです**。〈誤:わけだ〉
14. 大雨が降ったので、水不足は解消される**はずです**。〈誤:わけだ〉
15. 山田「高橋さん、今晩のパーティーに来るかなあ」
   李 「海外出張から明日戻る予定だから、来ない**はずだよ**」〈誤:わけだ〉
16. 彼は 5 年前に大学に入学したので、去年卒業した**はずです**。〈誤:わけだ〉
17. かばんにいれた**はず**なのに、書類が見つからない。〈誤:わけだ〉
18. 家族で旅行に行く**はずでした**。でも、父が病気になり、行けませんでした。〈誤:わけだ〉
19. いつも乗る電車に乗りました。遅刻する**はずではなかった**のですが、事故があって遅くなってしまいました。〈誤:わけだ〉
20. 〈自分で作ったケーキを食べて〉こんなに固くなる**はずじゃなかった**のに……。〈誤:わけだ〉

3. 話し手の納得を表す「はずだ」「わけだ」

「はずだ」「わけだ」は、不思議に思っていたことがうまく説明できることを知って、話し手が納得した時に使います（例21～24）。「どうりで」「なるほど」などといっしょに使うことが多いです。

〔はずだ〕〔わけだ〕还可以表示说话人因找到了可以说明本来不理解的事情的根据而领悟了这件事情（例21～24）。常与〔どうりで〕即“难怪”、〔なるほど〕即“原来如此”等词一起使用。

●例文

21. 何度かけてもつながらない**はずです／わけです**。電話の受話器〔じゅわき〕がはずれていたそうです。
22. 客が入って来ない**はずです／わけです**。外に出してある札〔ふだ〕が「準備中」のままでした。
23. 林さんはアメリカで育ちました。どうりで、英語が上手な**はずです／わけです**。
24. 道子「山田さんって、イギリスの大学を卒業したんですって」
    太郎「どうりで、英語が得意な**はずだ／わけだ**」

ステップ2…… 否定の形の「はず（は）ない」「わけ（は）ない」

「はず（は）ない」「わけ（は）ない」は、ある事柄が存在する可能性がないことを強く否定する時に使います（例25～28）。日常会話では、助詞の「は」を省略することが多いです（例25）。

〔はず（は）ない〕〔わけ（は）ない〕用来对某件事情发生的可能性进行强烈否定（例 25 ～ 28）。日常会话中一般省略助词〔は〕（例 25）。

●例文

25. 李「ねえ、あの人、劉さんじゃない？」
　王「劉さんの**はずない／わけない**よ。彼女は先週中国へ帰ったんだから」
26. 山田「鈴木さん、遅いですねえ。今日の昼食会のこと、忘れちゃったのかなあ」
　張　「そんな**はずはない／わけはない**ですよ。昨日電話で確認しましたから」
27. 彼のような温和な人がけんかなんてする**はずはありません／わけはありません**。
28. 中野「高橋さん、今晩のパーティーに来るかなあ」
　王　「来週まで海外出張だから、来る**わけはない／はずはない**よ」

ステップ 3……「わけだ」のその他の用法

1. 慣用表現の「わけ（は）ない」

「**わけ（は）ない**」は、「簡単」の意味を表す慣用表現として使うこともあります。

〔わけ（は）ない〕还有一种用来表示“简单”的意思的习惯用法。

●例文

29. エンジニアの彼にとって、そんな機械の故障を直すのは**わけない**ことです。
30. それくらいの軽い荷物を運ぶことは**わけありません**。

2. 論理的に引き出される結論を否定したり、主張をひかえめに表したりする「わけではない」

「**わけではない**」は、ある事実から論理的に引き出される結論を否定する時（例 31、32）、部分否定を表す時（例 33、34）、主張をひかえめに表す時（例 35、36）に使います。前に「という」が付いた形もよく使います。

〔わけではない〕可以用来对从事实推理出来的结论进行全面否定（例 31、32）、部分否定（例 33、34）或委婉地表明自己的主张（例 35、36）。这种场合常在前面接〔という〕。

●例文

31. 日本に住めば日本語が上手になるという**わけではありません**。
32. 食べる量を減らせば痩せるという**わけではありません**。
33. 全員が賛成している**わけではありません**が、過半数が賛成しています。
34. この店のすべての商品が安いという**わけではありません**。
35. 彼のことは、嫌いではありませんが、好きだという**わけでもありません**。
36. 絶対にやらないという**わけではありません**が、数学はあまり勉強する気がしません。

3. 不可能を表す「わけに（は）いかない」、義務を表す「ないわけに（は）いかない」

「**わけに（は）いかない**」は動詞の連体形に接続し、不可能を表します。ただし、能力がなくてできないのではありません。話し手の意志には反するが、何かの事情があってできない、あるいは常識からいってしてはならないという意味です（例 37、38）。

「**ないわけに（は）いかない**」は義務を表します。これも常識が判断の基準にあり、常識からいってそれをするのが当たり前なので、しなければならないという意味です（例 39）。

〔わけに（は）いかない〕接在动词的连体形之后，表示不可能。不是能力不够不能实现，而是表示虽然违背了说话人的自身意志，但因为某种原因或从常识角度考虑不能做的意思（例37、38）。

〔ないわけに（は）いかない〕表示义务。这种用法也是以社会常识为判断基准，意思是从常识角度考虑是应该做的事情，所以不得不去做（例39）。

●例文

37. 明日試験があるので、今日は遊びに行く**わけにはいきません**。
38. 上司〔じょうし〕に頼まれた仕事は断る**わけにはいきません**。
39. 全員から会費を集めます。新入会員の彼にも請求〔せいきゅう〕しない**わけにはいきません**。

練習問題

〈ステップ1〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. この日本語クラスは、月曜日から金曜日まで毎日3時間授業があります。つまり、1週間に15時間勉強する｛a. はず　b. わけ｝です。
2. 王「張部長は今日の会議に出席されますか」
   劉「会議には部長が出席する｛a. はず　b. わけ｝でしたが、急病のため、代わりに私が出席することになりました」
3. 李さんは今、あなたのことをとても怒っていますが、きちんと説明すればきっと理解してくれる｛a. はず　b. わけ｝です。
4. 山本さんは中国に10年も住んでいました。それで、中国語があんなに上手な｛a. はず　b. わけ｝です。

5. 彼女は、前からこの指輪がほしいと言っていたから、プレゼントしたら喜ぶ {a. はず　b. わけ} です。
6. 李　「東京で働く会社員は、通勤時間の長い人が多いですね」
   鈴木「東京は地価が高いから、土地を買うのが難しい。だから、ほかの県に家を建てて、そこから通勤する {a. はず　b. わけ} です」
7. 石井さんは昨日 UFO〔ユーフォー〕を見たそうですが、そんなものが実際に存在する {a. はず　b. わけ} はありません。
8. 田中さんは先月引っ越したから、前の住所に手紙を送ってもたぶん届かない {a. はず　b. わけ} です。
9. 山田「今夜は中国対日本のサッカーの試合があるそうです」
   中野「どおりで、サッカー好きの李さんが急いで帰って行った {a. はず　b. わけ} です」
10. 今月は服を買う {a. はず　b. わけ} ではなかったのに、このセーターを見たらほしくなって、買ってしまいました。

〈ステップ2・3〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 数学科を卒業した彼にとって、高校の数学の問題を解くのは {a. はず　b. わけ} ないことです。
2. 別に今の生活に対して不満がある {a. はず　b. わけ} ではありませんが、もう少し刺激がほしいです。
3. 理由もないのに、こんなに高い贈り物をもらう {a. はず　b. わけ} にはいきません。
4. ピアノが弾けると言っても、難しいクラシックが弾ける {a. はず　b. わけ} ではありません。
5. 遊んでばかりいて、試験に合格する {a. はず　b. わけ} ないでしょう。

第1課 が・けれど(も)・しかし・ところが

ステップ1…… 接続や文体による使い分け

1. 接続による使い分け

「**が**」「**けれど（も）**」「**しかし**」「**ところが**」は、前の文から予想される結果とは違う内容を表す時、接続詞として文頭に置きます（例1）。

「**が**」「**けれど（も）**」「**ところが**」は、接続助詞として前の文節末に置くこともできます。「**しかし**」は、前の文節末には置けません（例2～7）。接続助詞「**ところが**」は、「動詞＋た」または「動詞＋ていた」につながります（例2、3）。したがって、例4、5では「**ところが**」は使えません。

接続助詞「**が**」の前とあとの文体は、同じ（どちらも「ていねい体」またはどちらも「普通体」）でなければなりません（例2～6）が、「**けれど（も）**」「**ところが**」の前の文体は、あとの文体が「ていねい体」であっても、たいてい「普通体」です（例7）。

〔が〕〔けれど(も)〕〔しかし〕〔ところが〕可以作为接续词用在句子的开头，表示与前文所表示的预想结果不同（例1）。

〔が〕〔けれど(も)〕〔ところが〕也可以作为接续助词用在句子前半句的末尾，而〔しかし〕不能用在前半句的末尾（例2～7）。接续助词〔ところが〕与〔動詞＋た〕或〔動詞＋ていた〕相连接（例2、3）。所以，在例4、5中不能用〔と

ころが〕。

接续助词〔が〕的前后，必须用相同的的文体，即都是敬体或都是普通体（例 2 ～ 6），而使用〔けれど（も）〕〔ところが〕的时候，无论后面的文体是敬体还是普通体，前面的文体一般是普通体（例 7）。

●例文

1. 試験に合格すると思っていた。**が／けれど（も）／しかし／ところが**、結果は不合格だった。
2. 試験に合格すると思っていた**が／けれど（も）／ところが**、結果は不合格だった。〈誤：しかし〉
3. 寝坊して、あわてて学校へ行った**が／けれど（も）／ところが**、日曜日で休みだった。〈誤：しかし〉
4. 去年は学生だった**が／けれど（も）**、今年はもう社会人だ。
〈誤：しかし、ところが〉
5. 昨日は暑かった**が／けれど（も）**、今日はだいぶ涼しくなった。
〈誤：しかし、ところが〉
6. 試験に合格すると思っていましたが、結果は不合格でした。〈誤：しかし〉
7. 試験に合格すると思っていた**けれど（も）／ところが**、結果は不合格でした。
〈誤：しかし、が〉

2. 書き言葉と話し言葉による使い分け

接続詞「**が**」「**しかし**」は、主に書き言葉で使います。これらは、男性がよく使う「**だが**」に置き換えられます（例 8）。「**しかし**」よりさらに書き言葉的な「**しかしながら**」という語もあります（例 9）。

接続詞「**けれども**」は、「**が**」「**しかし**」より話し言葉的ですが、話し言葉ではくだけた形の「**けれど**」「**け**

ど（も）」を使うことが多いです（例10）。親しい人との会話では、「**だけど（も）**」「**だけれど（も）**」を使うことがあります（例11）。会話でのていねい体は、「**ですけど（も）**」「**ですけれど（も）**」です（例12）。

接続助詞「**が**」「**けれど（も）**」は、接続詞「**が**」「**しかし**」と比べると、書き言葉でも話し言葉でもよく使います。どちらかと言うと、接続助詞「**が**」は書き言葉的で、接続助詞「**けれども**」は話し言葉的です。

「**が**」に「**しかし**」を続けて、「**が、しかし**」という言い方をすることもあります（例13）。しかし、「**が**」に「**けれど（も）**」「**ところが**」を続けることはできません。

接续词〔が〕〔しかし〕一般作为书面语使用。这两个词可以用男性经常使用的〔だが〕来替换（例8）。比〔しかし〕还要显得郑重的词是〔しかしながら〕（例9）。

接续词〔けれども〕比〔が〕〔しかし〕显得口语化，但实际使用的时候，更常用〔けれど〕〔けど（も）〕（例10）的形式。与关系亲密的人说话的时候，有时也用〔だけど（も）〕〔だけれど（も）〕（例11）。日常会话中比较礼貌的形式是〔ですけど（も）〕〔ですけれど（も）〕（例12）。

与接续词〔が〕〔しかし〕比较而言，接续助词〔が〕〔けれど（も）〕既可以用于书面语中也可以用于日常会话。相对来说，接续助词〔が〕显得书面语化，〔けれど（も）〕显得口语化。

有时〔が〕与〔しかし〕可以连在一起以〔が、しかし〕的形式使用（例13）。但〔が〕不能与〔けれど（も）〕〔ところが〕连在一起使用。

●例文……

8. 私は約束の時間に1時間も遅れた。**が／しかし／だが**、彼女は待っていてくれた。
9. 原子力発電は確かに有効である。**しかしながら**、安全性をよく検討し、慎重に計画する必要がある。
10. あの店はあまりきれいじゃありません。**けれど**、料理はおいしいです。
11. 〈友達に〉ちゃんと朝ご飯を食べて来たよ。**だけど**、もうおなかがすいてきちゃった。
12. その意見に反対しているわけではありません。**ですけれども**、積極的に賛成しているわけでもありません。
13. 国連は平和な世界をつくるために努力していますが、**しかし**、まだ戦争はなくなりません。

ステップ2…… 前後の意味関係による使い分け

1. あとの文で意志表現が使えない「ところが」

「**が**」「**けれど（も）**」「**しかし**」「**ところが**」は、前の文から予想される結果と違う内容を述べる時に使います（例14）。例15は前文節の末尾に置く使い方なので、「**しかし**」は使えません。あとの文が希望（例16）や推量（例17）などの意志表現の時は、「**ところが**」は使えません。

〔が〕〔けれど（も）〕〔しかし〕〔ところが〕表示与前文所表示的预想结果不同（例14）。例15是用在前半句末尾的用法，所以不能用〔しかし〕。如果后面有表示愿望（例16）、推测（例17）等意志的词句时，不能用〔ところが〕。

●例文

14. 私は試験でたいてい 80 点ぐらい取ります。**が／けれど（も）／しかし／ところが**、この前の試験では 50 点しか取れませんでした。
15. 日本人に会ったので、日本語で話しかけた**が／けれど（も）／ところが**、ちっとも通じなかった。〈誤：しかし〉
16. 私は、試験でたいてい 80 点ぐらい取ります。**が／けれど（も）／しかし**、今度の試験では、ぜひ 100 点を取りたいです。〈誤：ところが〉
17. 今日は雨が降った**が／けれど（も）**、明日はきっと晴れるだろう。〈誤：しかし、ところが〉

2. 前後の対比を表す「が」「けれど（も）」「しかし」

「**が**」「**けれど（も）**」「**しかし**」は、前に述べた事柄と対比的な事柄を述べる時にも使います。「ところが」にはこの用法はありません。

〔が〕〔けれど（も）〕〔しかし〕用于叙述与前面的内容相对比的事物。〔ところが〕没有这种用法。

●例文

18. 1 階の部屋は広いです。**が／けれど（も）／しかし**、2 階の部屋は狭いです。〈誤：ところが〉
19. 上の子はもう小学校に入った。**が／けれど（も）／しかし**、下の子はまだ 1 歳で、育児に手がかかって大変だ。〈誤：ところが〉
20. 彼はよく勉強します**が／けれど（も）**、彼の弟は全然勉強しません。〈誤：しかし、ところが〉
21. 彼はよく勉強しました**が／けれど（も）**、スポーツはほとんどしませんでした。〈誤：しかし、ところが〉

ステップ3…… 前置きや婉曲表現として使う用法

1. 接続助詞「が」「け（れ）ど」で前置きを表す用法

接続助詞「**が**」「**け（れ）ど**」は前置きを表すことがあります。

接续助词〔が〕〔け（れ）ど〕有时可以用来表示前提。

●例文……

22. 好きな食べ物はたくさんありますが、いちばん好きなのは寿司〔すし〕です。
23. 〈電話で〉「張と申しますが、劉さん、いらっしゃいますか」
24. ちょっと教えていただきたいことがあるんですけれど、今よろしいですか。
25. 田中「これから、郵便局へ行くけど、何か用事ある？」
    王　「はがきを5枚買って来て」

2. 接続助詞「が」「け（れ）ど」で文を終止する用法

ある事柄についての話し手の希望(「そうであればいい」「そうなればいい」) を述べたり、事情説明などで言いにくいことを婉曲〔えんきょく〕に述べたりする時に使います。例26は無事であることを望む気持ちを表し、例27は婉曲に事情を説明しています。例28と例29の「たいんですけれど……」「たいんですが……」は形式上は希望表現ですが、実質上は許可求めや依頼表現になっています。例30は事情を説明して婉曲に断っています。例31は事情を説明して婉曲に依頼しています。いずれも日常会話でよく使います。

〔が〕〔け（れ）ど〕用来叙述说话人的愿望，即“如果那样的话就好了”“我希望那样”，或对于难以开口解释的事

情进行委婉表达的场合。例 26 表达的是希望平安无事的心情, 例 27 是对事情进行委婉的解释。例 28 和例 29 的〔たいんですけれど……〕〔たいんですが……〕在形式上是表示愿望的表达形式,实际上是表示请求对方准许或请求对方帮助。例 30 是对事情进行说明的同时,委婉地拒绝了对方提出的要求。例 31 是对事情进行说明的同时, 委婉地请求对方帮助。这些用法在日常会话中都经常使用。

●例文

26. 山に出かけた兄がまだ戻って来ていません。無事だといいのですが……。
27. 課長「昨日頼んだ仕事、まだ、できてないの？」
社員「この仕事を先にやるように部長に言われたんですけど……」
28. 課長、今日は、少し早く帰りたいんですけれど……。
29. ちょっと教えていただきたいんですが……。
30. 客 「コンサート、行けなくなったので、この切符、払い戻してください」
店員「払い戻しは、お受けできないんですが……」
31. このコピー機の使い方がわからないんですが……。

練習問題

正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 私はいつも 11 時ごろ寝ます。{a. けれども b. しかし c. ところが}、昨日は宿題がたくさんあったので、1 時過ぎまで起きていました。
2. 李さんが病気で入院しました。{a. けれども b. しかし c. ところが}、彼は若くて体力もあるから、きっとすぐ治るでしょう。
3. 〈授業中〉「先生、トイレに行きたいんです {a. が b. けれど c. ところが} ……」
4. すみません、この本を借りたいんです {a. が b. けれど c. ところが} ……。

5. あのコンサートのチケットがまだあるかどうか、電話で聞いてみましょう。{a. けれども　b. しかし　c. ところが}、もう売り切れているかもしれません。
6. 彼女はもう来ないだろうと思っていた {a. けれども　b. が　c. ところが}、1時間すぎたころ、やっと来ました。
7. 今年は大学入試に落ちました {a. けれども　b. が　c. ところが}、来年は絶対に合格するつもりです。
8. 山田「その服、とても似合うわよ」
   鈴木「そう？ {a. しかし　b. だけど　c. ところが}、ちょっと派手じゃない？」
9. ちょっと相談したいことがあるんです {a. が　b. けれど　c. ところが}、今、よろしいでしょうか。
10. 彼が選挙で当選する可能性は非常に低いですが、{a. しかし　b. けれども　c. ところが}、奇跡〔きせき〕が起きないとは言えません。
11. 雨が降らないうちに、友達の家に着けるといいのです {a. が　b. けれど　c. ところが} ……。
12. 私は料理が上手ではない {a. けれども　b. が　c. ところが}、弟はとても上手です。
13. バドミントンの試合に出て、1回戦で負けてしまいました。{a. けれども　b. しかし　c. ところが}、私はまた試合に出たいと思っています。
14. 作文の試験の時は辞書を使ってもかまいません。{a. けれども　b. しかし　c. ところが}、文法の試験の時は使わないでください。
15. 〈病院で〉おといからずっと熱が下がらないんです {a. が　b. けれど　c. ところが} ……。

第2課 そこで・それで・だから

ステップ1…… 原因や理由を表す「それで」「だから」、きっかけを表す「そこで」

1. 意志的でなくても使える「それで」「だから」、意志的でないと使えない「そこで」

「**それで**」「**だから**」は、前の事柄があとの事柄の原因または理由であることを表す時に使います（例1～3）。その場合、あとの行為が意志的でも意志的でなくても使えます。「**そこで**」は基本的に前の動作や出来事がきっかけとなって、あとの行為を意志的に行う時に使います。あとの事柄が意志的な行為ではない場合、「**そこで**」は使えません（例4、5）。

文末に勧誘や依頼、指示などの表現が来る場合は、「**だから**」を使います（例6～8）。「**だから**」をていねいに言う時は「**ですから**」を使います。「**そこで**」「**それで**」には、ていねい体はありません。

〔それで〕〔だから〕用来说明前面叙述的事情是后面叙述的事情的原因、理由（例1～3）。这种场合下，无论后面叙述的事情是不是主观意志的结果，都可以使用。〔そこで〕一般用于说明以前面叙述的事情为契机引发了后面所叙述的由主观意志所决定的行为。因此，如果后面所发生的事情和主观意志没有关系，不能使用〔そこで〕（例4、5）。

如果句子的末尾有表示劝诱、请求、指示等意思的词出现，一般使用〔だから〕（例6～8）。〔だから〕的礼貌说法是〔ですから〕。而〔そこで〕〔それで〕没有相对应的礼貌说法。

●例文

1. 助詞の使い方がわからなくて困りました。**そこで／それで／だから**、先生に尋ねました。
2. 宝くじ〔彩票〕で1億円当たりました。**そこで／それで／だから**、会社を辞めて、自分で商売を始めました。
3. 京都に小学校時代の友達がいます。**そこで／それで／だから**、一度遊びに行くことにしました。
4. 子供のころ、犬にかまれました。**それで／だから**、今でも犬が好きになれません。〈誤：そこで〉
5. 昔はよく暗くなるまで遊んでいました。**それで／だから**、いつも母にしかられていました。〈誤：そこで〉
6. 子供が寝ています。**だから**、騒がないでください。〈誤：そこで、それで〉
7. 10時に門が閉まります。**だから**、急いで帰りましょう。〈誤：そこで、それで〉
8. 今、勉強中です。**だから**、また今度遊びに来てください。〈誤：そこで、それで〉

2. 前の文を納得の根拠とする「それで」「だから」

前文の事実が判明し、現在の状態はその当然の結果だという納得の気持ちを表す場合、「**それで**」「**だから**」を使います（例9、10）。前文を根拠として何かを推量したり判断したりする場合は「**だから**」を使います（例11～13）。この場合、「**それで**」は使えません。

对现在的状态是从前文中所了解到的事实的必然结果而感到顺理成章时，用〔それで〕〔だから〕（例9、10）。以前文的内容为根据来对某事进行推测、判断的场合用〔だから〕（例11～13）。这种场合不能用〔それで〕。

●例文……

9. 張　「私は以前日本に住んでいたことがあります」
   山田「**それで／だから**、日本語がお上手なんですね」〈誤：そこで〉
10. 中野「今日は給料日なんです」
    田中「**それで／だから**、みんなうれしそうなんですね」〈誤：そこで〉
11. 部屋の電気がついています。**だから**、劉さんはもう戻っているのでしょう。〈誤：そこで、それで〉
12. 火星には昔、水があったと言われています。**だから**、生物が存在する可能性があります。〈誤：そこで、それで〉
13. 私の両親は結婚してもう24年になります。**だから**、あと1年で銀婚式です。〈誤：そこで、それで〉

ステップ2…… 前の文とあとの文に原因・結果の関係がなくても使える用法

1. 話を先に進める「それで」

「**それで**」は、前の文とあとの文に原因・結果の関係がなくても使えます。相手の話を聞いてその先をうながす時（例14、15）や、前の話を受けて話を次に進める時（例16、17）に使います。

〔それで〕还可以用于前句与后句之间不存在因果关系的场合，即用于听了对方的话后催促对方讲述下面内容的场合（例14、15），以及用于说话人在前句话题的基础上继续下面的内容的场合（例16、17）。

●例文

14. 山田「劉さんがけがで入院したそうです」
　中野「**それで**、けがの具合はどうですか」〈誤：そこで、だから〉
15. 李　「昨日、大学の合格発表がありました」
　田中「**それで**、結果はどうでしたか」〈誤：そこで、だから〉
16. 妻とは会社で知り合って、半年後に結婚しました。**それで**、次の年に今の家に引っ越しました。〈誤：だから、そこで〉
17. 郵便局へ行って80円切手を買って来ください。**それで**、もしなかったら、40円切手2枚でもいいです。〈誤：だから、そこで〉

2. 次の事柄の始まりを表す「そこで」

「**そこで**」は、前の事柄が終了または一時中断して、次に新しい事柄が始まる時に使います。

〔そこで〕可以用于前面的事情结束或一时中断后，接下来新的事情就开始了的场合。

●例文

18. 先生の話が終わりました。**そこで**、突然1人の学生が「質問があります」と大声で叫びました。〈誤：それで、だから〉
19. 「私から一つ提案をさせていただきます」。彼は、**そこで**お茶を一口飲んで話を続けました。〈誤：それで、だから〉

ステップ3……「だから」のその他の用法

「**だから**」は、あるマイナスの結果が話し手には前もってわかっていたという時に使うことがあります。この場合は、その結果に対する不満や憤〔いきどお〕りの気持ちを伴うことが多いので、使い方には十分注意が必要です。場合によっては相手を非難することになります。親子や友人同士など、非常に親しい間柄〔あいだがら〕ではよく使います。

〔だから〕有时可以用来表示所发生的不好的结果是说话人事先预测到的事情。这种场合因为含有对该结果的不满、愤怒的心情，在某些场合会让人感到是在责备对方，所以使用的时候要加以注意。一般常用于家长和孩子，以及朋友等关系非常亲密的人之间。

●例文……

20. 夫「雨に降られて、服が濡〔ぬ〕れてしまったよ」
　妻「**だから**、傘〔かさ〕を持って行ったほうがいいと言ったのよ」
　〈誤：そこで、それで〉

21. 娘「もうこんな時間？ 遅刻しそう」
　母「**だから**、もっと早く起きなさいと言ったのに……」〈誤：そこで、それで〉

練習問題

〈ステップ1〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 今日はとてもいい天気です。{a. そこで　b. それで　c. だから}、家族みんなでピクニックに行くことにしました。
2. 家のそばで一晩中道路工事をしています。{a. そこで　b. それで　c. だから}うるさくて、よく眠れません。
3. 田中「陳さんは明日からイタリアへ旅行に行くそうですよ」
   鈴木「{a. そこで　b. それで　c. だから}、うれしそうな顔をしているんですね」
4. 夜空に星が出ています。{a. そこで　b. それで　c. だから}、明日はきっと晴れるでしょう。
5. これはとても大事な書類です。{a. そこで　b. それで　c. だから}、鈴木部長に必ず渡してください。
6. バレーボール大会で優勝したクラスには賞品が出るそうです。{a. そこで　b. それで　c. だから}、みんなで頑張りましょう。
7. 最近日本では1人の女性が生む子供の数が減っています。{a. そこで　b. それで　c. だから}、高齢化社会の問題が大きくなってきています。
8. あの人はとてもまじめな人です。{a. そこで　b. それで　c. だから}、私たちにうそをつくはずがありません。
9. 富士山の頂上は夏でも寒いです。{a. そこで　b. それで　c. だから}、上着を持って行ったほうがいいですよ。
10. 山田「小林さんが財布をなくしたそうですよ」
    王　「ああ、{a. そこで　b. それで　c. だから} 元気がないんですね」

〈ステップ2・3〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 山田「お酒を飲みすぎて、気持ちが悪いです」
   李　「{a. そこで　b. それで　c. だから}、あまりたくさん飲まないほうがいいと言ったんです」

2. 劉　「王さんのところに赤ちゃんが生まれたそうですよ」
   山田「よかったですね。{a. そこで　b. それで　c. だから}、女の子ですか、男の子ですか」
3. 成田空港に着いて、すぐ友達に電話しました。{a. そこで　b. それで　c. だから}、空港まで車で迎えに来てくれるように頼みました。
4. みんなは頂上へ向けて出発した。{a. そこで　b. それで　c. だから}、突然大粒の雨が降りだした。
5. 李　「昨日、大学の入学試験がありました」
   田中「{a. そこで　b. それで　c. だから}、合格発表はいつですか」
6. 私は中国の大学で4年間日本語を勉強しました。{a. そこで　b. それで　c. だから}、卒業したあと、日本へ留学しました。
7. 鈴木「仕事がなかなか見つからなくて困っています。」
   山田「{a. そこで　b. それで　c. だから}、早く就職活動を始めたほうがいいと言ったでしょう」
8. 王　「今度、長春で日本料理の店を開くことにしました」
   小林「それはいいですね。{a. そこで　b. それで　c. だから}、いつから営業を始めるんですか」
9. 母が28歳の時、兄が生まれました。{a. そこで　b. それで　c. だから}、2年後に私が生まれました。
10. 〈料理の作り方〉しばらく玉ねぎを炒めると、色が透明になってきます。{a. そこで　b. それで　c. だから}、塩とこしょうをいれてください。

第3課　そして・それから・それに

ステップ1…… 文と文をつなぐ用法

「**そして**」は、前の文に次の文を単純につなげる働きがあります。「**そして**」が結び付けた出来事は、その順番で起こったとは限りません。二つの出来事が同時に起こっていることを表す時もあります。「**それから**」は、出来事を順に追って述べる時に使います。「**それに**」は、ある事柄を述べたあと、さらに同類の何かを追加する時に使います。例1では、「新宿へ行った」ことと「渋谷へ行った」ことをただ並べて話しています。新宿に行ったあとで渋谷へ行ったとは限りません。例2のように、新宿へ行ったあとで渋谷に行くというように順番を示す場合は、「**それから**」を使い、「**それに**」は使えません。また、「**そして**」を使う場合も、「**そして**そのあと」のようにはっきりと順番を示すことが多いです。例3のように、新宿へ行って、そこで映画を見たというような場合は、「**そして**」を使い、「**それから**」「**それに**」は使えません。例5で「**そして**」を使うと、先生がいすに座ったことと、私たちを見回したことの二つの動作を単純に述べていますが、「**それから**」を使うと、先生がまずいすに座り、その次に私たちを見回したという行為の順序に着目して述べていることになります。例6は、前後の内容に順番がなく同類の事柄でもなく、単純に話し声が聞こえてくる状況を表しているので、「**そして**」しか使えません。

〔そして〕用来把前后的句子单纯地连接起来。用〔そして〕连接起来的内容不一定存在先后顺序，有时也可以把同时发生的两件事情连接起来。〔それから〕是把所发生的事情依次地进行叙述。〔それに〕用于叙述某件事后，又附加说明同类事情的场合。例 1 是把〔新宿へ行った〕和〔渋谷へ行った〕两件事情依次列举出来，并不一定是先去了新宿后去了涩谷。例 2，表示先去了新宿后又去了涩谷的先后顺序的场合，要用〔それから〕，不能用〔それに〕。这种场合如果使用〔そして〕，大多用〔そしてそのあと〕的形式清楚地表示出先后顺序。例 3 的意思是去了新宿后在那里看了电影，这时应该用〔そして〕，不能用〔それから〕〔それに〕。例 5 中如果使用〔そして〕，单纯描述老师坐在椅子上和环视了我们一下的两个动作，如果使用〔それから〕，则把着眼点放在了老师先坐到椅子上，然后环视了我们一下的两个动作的先后顺序上。例 6 所表达的内容既没有时间上的先后顺序，也不是对同类事情的描述，只是说明“能听到说话声音”的状况，所以只能使用〔そして〕。

●例文

1. 昨日は、新宿へ行きました。**そして／それから／それに**、渋谷へも行きました。
2. 昨日は、最初新宿へ行きました。**それから**、渋谷へ行きました。〈誤：それに〉
3. 昨日、新宿へ行きました。**そして**、映画を見ました。〈誤：それから、それに〉
4. 先に宿題をやりなさい。**それから**、遊びなさい。〈誤：それに〉
5. 先生はいすに座りました。**そして／それから**、私たちを見回しました。〈誤：それに〉
6. 部屋には明かりがついていました。**そして**、中からは話し声が聞こえてきました。〈誤：それに、それから〉

ステップ2…… 文の一部をつなぐ用法

「**そして**」「**それから**」「**それに**」は、文の一部をつないで表現を付け加える時にも使います。例7では、異なる性質を持った複数の花を順に挙げているので、三つとも使えます。一方、例8では、一輪の花が持つ複数の性質を述べているので、「**それから**」は使えません。さらに、例9のように別々の物を順に数え上げるような場合は意味の違いはほとんどありません。あえて説明すると、「**そして**」は全部をまとめて述べているようなニュアンスがあり、「**それに**」と「**それから**」は思い出しながら述べて、最後に消しゴムを思いついたので付け加えたというニュアンスがあります。また、日常会話では「**そして**」より「**それから**」「**それに**」のほうをよく使います。

〔そして〕〔それから〕〔それに〕也可以用于连接句子中的词和词，表示附加说明。如例7，把具有不同性质的几朵花依次列举出来的场合，三个词都可以使用。如例8是说明同一朵花所具有的多种性质，所以不能使用〔それから〕。再如例9，列举不同的事物的场合三个词都可以使用，而且在意思上几乎没有区别。只不过〔そして〕给人的印象是把应该带来的所有的东西一一列举出来，〔それに〕与〔それから〕则是按照想起来的顺序进行列举，因为最后想到的是橡皮，所以把橡皮追加上去。此外，与〔そして〕相比较，〔それから〕〔それに〕多用于日常会话。

●例文

7. テーブルの上に美しい花、**そして／それから／それに**、香りのいい花がたくさん飾られています。
8. テーブルの上に美しい、**そして／それに**、香りのいい花が一輪飾られています。〈誤：それから〉
9. ノートと鉛筆、**そして／それから／それに**、消しゴムを持って来てください。

練習問題

〈ステップ1・2〉正しいものを選んでください。答えは一つとは限りません。

1. 森の中はとても静かでした。{a. そして　b. それに}、時々風の音が聞こえてきました。
2. 私は李さんに電話をしました。{a. そして　b. それから}、日本語のテープを貸してほしいと頼みました。
3. おいしい紅茶をいれるためには、まず、カップをお湯で温めます。{a. それから　b. それに}、そのカップに紅茶をいれます。
4. 張さんのお母さんはとてもやさしいです。{a. それから　b. それに}、料理もとても上手です。
5. 〈食堂で〉「サンドイッチとコーヒーをください。あ、{a. そして b. それから}、野菜サラダもお願いします」
6. 陳さんは李さんにCDを貸しました。{a そして　b. それに}、李さんはそのCDを王さんに貸しました。
7. 小林さんは先生の研究室のドアをノックしました。{a そして　b. それに}、「失礼します」と言ってドアを開けました。
8. 息子「お母さん、買い物に行ってくるよ」
   母親「じゃあ、牛乳と卵、{a. そして b. それから}、コーヒーも買って来て」

9.〈料理の説明〉はじめに肉を食べやすい大きさに切ってください。
{a そして　b. それに}、その肉を強火で炒めてください。

10. 今日はお客さんが来るので、山田さんは料理を作りました。
{a. そして b. それから}、その間に奥さんは部屋の掃除をしました。

解答

文法上間違いではないが、文脈的に不自然なものは（ ）でくくっています。

第1章

第1課 あいだに・うちに

〈ステップ1〉
1. a, b　2. a, b　3. a, b　4. a
5. a, b　6. a, b　7. a　8. a
9. a　10. a, b

〈ステップ2〉
1. b　2. a　3. a　4. b　5. b

第2課 あと・うしろ・おく

〈ステップ1〉
1. a　2. a　3. a　4. a, b　5. b
6. b　7. a　8. a　9. b　10. b

〈ステップ2・3〉
1. b　2. b　3. b　4. b　5. b
6. b　7. a　8. b　9. b　10. b

第3課 おかげ・せい・ため

〈ステップ1〉
1. a　2. b　3. a, b　4. a　5. a
6. b　7. a, b　8. a　9. b　10. b

〈ステップ2〉
1. b　2. b　3. a　4. a　5. a

第4課 かど・すみ・はし

1. b　2. a, b　3. a　4. b　5. b
6. a, b　7. b　8. b　9. a　10. a, b

第5課 こと・の・もの

〈ステップ1〉
1. b　2. b, c　3. a　4. b　5. a
6. c　7. a, c　8. a　9. a, c　10. a, c
11. c　12. c　13. a, c　14. c　15. c

〈ステップ2〉
1. c　2. a　3. c　4. a　5. a
6. a　7. b　8. c　9. c　10. b
11. a　12. c　13. b, c　14. b, c　15. a

第6課 さき・てまえ・まえ・むこう

〈ステップ1〉
1. a　2. a　3. a　4. a　5. c
6. a　7. b　8. a　9. b　10. b

〈ステップ2〉
1. a　2. b　3. a　4. c　5. c
6. c　7. c　8. a　9. a　10. a

第7課 そば・ちかく・となり・よこ

〈ステップ1〉
1. a, b　2. a　3. a　4. a, b　5. a
6. a, b　7. b　8. a　9. a, b　10. a

〈ステップ2〉
1. a　2. b　3. a　4. a　5. a

第8課 ちゅうしん・まんなか

1. b　2. b　3. b　4. a　5. a
6. b　7. a　8. a　9. b　10. a

第2章

第1課 いっぱい・おおい・たくさん

〈ステップ1〉
1. a, b　2. a　3. a　4. a　5. a

〈ステップ2〉
1. a　2. a　3. b　4. b　5. a, b

〈ステップ3〉
1. a　2. b　3. b　4. b　5. b

第2課 いやだ・きらいだ

1. a　2. b　3. a　4. a　5. c
6. b　7. a　8. c　9. b　10. b

第3課 うれしい・たのしい

1. a　2. b　3. b　4. b　5. a
6. a　7. b　8. a　9. b　10. b

第4課 おおきい・おおきな・ちいさい・ちいさな

1. a, b　2. a　3. a, b　4. a, b　5. b (a)
6. a, b　7. b (a)　8. b　9. b　10. a／a

第5課 おかしい・おもしろい・ゆかい

1. b　2. b　3. b, c　4. c　5. a
6. b　7. a　8. a　9. a　10. a, b, c

第6課 おそろしい・こわい

1. a (b)　2. a (b)　3. b (a)　4. b (a)
5. b (a)／a／b (a)　6. a　7. a
8. b (a)　9. a　10. a

第7課 かんたん・やさしい・よい・らく

1. a, b　2. a　3. a, c　4. c　5. a, c

6. a　7. b　8. b　9. a　10. a (c)

第 8 課 くやしい・ざんねん
1. b　2. a, b　3. a　4. b　5. b
6. a　7. b　8. b　9. b　10. a

第 9 課 じゅうよう・だいじ・たいせつ
1. a, b　2. a, b, c　3. c　4. b　5. c
6. a, b　7. c　8. a, b　9. a, b, c　10. a, b

第 10 課 しんちょう・ていねい
1. a　2. a　3. b　4. b　5. a
6. a　7. b　8. a　9. a　10. b

第 11 課 しんぱい・ふあん
〈ステップ 1〉
1. a, b　2. b　3. b　4. b　5. a
〈ステップ 2〉
1. 心配がある　2. 心配がありません
3. 心配いりません　4. 心配をかけて
5. 心配をして

第 12 課 すばらしい・たいした・(もの) すごい
1. b　2. b　3. a　4. a　5. b
6. b　7. b　8. a　9. a　10. a

第 3 章

第 1 課 あたりまえ・とうぜん・もちろん
〈ステップ 1〉
1. a, b　2. a, c　3. b (a, c)　4. a, b
5. a, c　6. b　7. a (c)　8. a, c　9. a, b
10. b　11. a　12. b　13. b　14. a　15. a

第 2 課 あまり・あまりに (も)・まだまだ
1. a　2. b　3. b　4. b　5. b
6. a　7. a　8. a, b　9. a　10. a, b

第 3 課 あらゆる・だいたすう・だいぶぶん・ほとんど
1. a　2. b　3. a　4. b　5. b
6. a, b　7. a　8. a　9. a　10. a

第 4 課 いきなり・きゅうに・とつぜん・ふいに
1. a, b, c　2. b　3. b　4. a, b, c
5. b　6. a　7. c　8. a, b, c
9. c　10. a, b, c

第 5 課 いちばん・もっとも
1. a (b)　2. b　3. b　4. a (b)　5. a
6. a　7. b　8. a　9. a　10. b

第 6 課 いっそう・ますます・もっと
1. a, b, c　2. a, b, c　3. a, b, c
4. a　5. a　6. a, c　7. a　8. a
9. a　10. a

第 7 課 いつまでも・ずっと
1. a　2. a　3. a　4. a　5. a, b
6. a, b　7. a　8. b　9. a　10. a

第 8 課 いつも・たえず・よく
〈ステップ 1〉
1. a, b　2. c　3. b　4. b　5. c
〈ステップ 2・3〉
1. a　2. a　3. a　4. a　5. a
6. b　7. a　8. a　9. b　10. b

第 9 課 いろいろ・さまざま
1. a, b　2. b　3. b (a)　4. a (b)　5. b
6. b　7. a　8. b　9. b　10. b

第 10 課 かならず・きっと・ぜひ
1. b　2. a　3. a　4. b　5. a
6. a　7. b　8. b　9. b　10. a

第 11 課 かなり・ずいぶん・だいぶ・なかなか
1. a　2. a　3. a　4. a　5. a
6. a　7. b　8. b　9. a　10. a
11. b　12. b　13. b　14. a　15. a

第 12 課 きちんと・しっかり・ちゃんと
1. c　2. a, b　3. a, b, c　4. c　5. b
6. c　7. a, b, c　8. b　9. b　10. c

第 13 課 けっして・ぜんぜん・ちっとも・まったく
〈ステップ 1〉
1. a, b, c　2. a, b　3. b　4. b　5. a, b, c
6. b, c　7. a　8. a　9. b　10. b
〈ステップ 2〉
1. a, b　2. b　3. b　4. b　5. b

第 14 課 ことに・とくに・とくべつ
1. b　2. b　3. b　4. b　5. a
6. a　7. b　8. b　9. b　10. a

第 15 課 さっそく・すぐ・たちまち
1. a　2. a, b　3. a, b　4. b (a)　5. a

6. a, b　7. a　8. a　9. a　10. a

第16課 すこし・ちょっと
〈ステップ1〉
1. a, b　2. a, b　3. a　4. b　5. b
6. b　7. b　8. b　9. b　10. b
〈ステップ2・3〉
1. b　2. a　3. b　4. b　5. b

第17課 すっかり・ぜんぶ・み (ん) な
1. a　2. b　3. a　4. b　5. b
6. a, b　7. b　8. a　9. b　10. b
11. a, b　12. b　13. b　14. a　15. a

第18課 せっかく・わざわざ
1. a　2. a　3. b　4. b　5. a, b
6. a　7. b　8. a　9. b　10. a, b

第19課 そろそろ・まもなく・やがて
1. b　2. c　3. b　4. a　5. a
6. b, c　7. c　8. b　9. a　10. a, b

第20課 だいたい・たいてい
〈ステップ1〉
1. a, b　2. b　3. b　4. b　5. a, b
〈ステップ2〉
1. a, b　2. b　3. b　4. b　5. b

第21課 たいへん・とても・ひじょうに
1. c　2. a　3. b　4. a, b, c　5. a
6. b　7. a　8. b　9. c　10. a

第22課 たった・わずか
〈ステップ1・2〉
1. わずか　2. わずかに
3. わずか, たった　4. わずかな
5. たった　6. たった
7. わずか, たった (の)　8. たった
9. わずか, たった　10. わずか

第23課 たまに・ときどき・めったに
1. a, b　2. a　3. a　4. a　5. b／b
6. b／b　7. b　8. b　9. b　10. a

第24課 つぎつぎ (に)・どんどん
1. a　2. a, b　3. a, b　4. a　5. a

第25課 とうとう・やっと
1. a　2. a, b　3. a　4. b　5. a
6. a, b　7. a　8. b　9. b　10. b

第26課 なぜ (だ) か・なんだか・なんとなく
〈ステップ1〉
1. a, b, c　2. a　3. a　4. a　5. a
6. a, b　7. a, b　8. c　9. c　10. c
〈ステップ2〉
1. b, c　2. b, c　3. b　4. c　5. c

第27課 なんとか・まあまあ
1. a　2. a　3. b　4. a　5. b
6. a　7. b　8. b　9. b　10. b

第4章

第1課 くらい・ばかり・ほど
〈ステップ1〉
1. a　2. a, b, c　3. c　4. a, b, c　5. a
6. c　7. c　8. a, b, c　9. c　10. a, b, c
〈ステップ2〉
1. a, b　2. a　3. a, b　4. b　5. a, b
6. a　7. a, b　8. a, b　9. b　10. a

第2課 さえ (も)・でも・まで (も)
〈ステップ1・2〉
1. a, b　2. b　3. b　4. a　5. c
6. a　7. b　8. a, c　9. a, b, c　10. b
〈ステップ3〉
1. b　2. a　3. a　4. b　5. c

第3課 対象を表す「を」と「が」
〈ステップ1〉
1. b　2. b　3. a　4. b　5. b
〈ステップ2・3〉
1. a　2. a, b／a, b　3. a　4. a　5. a
6. a　7. a, b　8. a　9. a　10. a
11. a　12. a　13. a　14. a　15. a

第4課 たら・と・なら・ば
〈ステップ1・2〉
1. a, c　2. a, b, c　3. a　4. a　5. a, b
6. b　7. a　8. a, b, c　9. a, b　10. b
〈ステップ3・4・5〉
1. a, c　2. c　3. a, b, c　4. c　5. c
6. a, b, c　7. a, b, c　8. a, b, c
9. a, c　10. a, c

第5課 で・に
〈ステップ1〉
1. a　2. b　3. a　4. b　5. a
6. b　7. b　8. b　9. a／b　10. a／b
〈ステップ2〉
1. a, b　2. a　3. b　4. a　5. a

第6課　といっしょに・とともに
1. a, b　2. b　3. b　4. a　5. b (a)
6. a　7. a　8. a　9. a　10. a

第7課 ないで・なくて
〈ステップ1・2〉
1. b　2. b　3. b　4. b　5. a
6. b　7. a　8. a　9. a　10. a
〈ステップ3・4〉
1. a　2. a　3. b　4. b (a)　5. a, b
6. a　7. a　8. b　9. b (a)　10. a, b

第8課 にしたがって・につれて・にともなって・によって
〈ステップ1〉
1. a, b, c　2. a, b　3. a, b, c　4. b, c
5. b　6. c　7. b, c　8. b　9. b, c
10. c
〈ステップ2〉
1. a　2. a　3. a　4. b　5. b

第9課 にたいして・について・にとって
1. b　2. a　3. b　4. b　5. a
6. b　7. b／a　8. b／a　9. a, c
10. a, b　11. a　12. a　13. a, b
14. c　15. c

第10課 をつうじて・をとおして
1. b　2. b　3. a, b　4. a, b　5. b
6. b　7. a, b　8. b　9. a, b　10. a, b

第5章

第1課 う・だろう・でしょう・よう
1. 何時でしょう　2. しよう，しましょう
3. お持ちしましょう　4. 雨でしょう／晴れるでしょう　5. 働こう　6. あるだろう，あろう　7. やりましょう，やろう　8. 続けるだろう　9. 信じよう　10. 上がるだろう

第2課 そうだ・ようだ・らしい
〈ステップ1〉
1. a　2. a　3. a　4. a, b　5. a
6. b　7. a　8. a　9. b　10. a
〈ステップ2〉
1. a　2. b　3. b　4. a　5. a, b

第3課 たい・たがる
〈ステップ2〉
1. 会いたがっていました　2. 飲みたがります　3. いやがって　4. 苦しがっている
5. 怖がって　6. 見たがっている　7. 残念がっていました　8. 迷惑がられ　9. はずかしがって　10. うれしがります

第4課 にきまっている・にちがいない・にほかならない
1. a, b　2. a　3. a　4. b　5. b
6. b　7. a　8. b　9. b　10. b

第5課 はずだ・はずはない・わけだ・わけはない
〈ステップ1〉
1. b　2. a　3. a　4. b　5. a
6. b　7. a　8. a　9. a, b　10. a
〈ステップ2〉
1. b　2. b　3. b　4. b　5. a, b

第6章

第1課 が・けれど（も）・しかし・ところが
1. a, b, c　2. a, b　3. a, b　4. a, b
5. a, b　6. a, c　7. b　8. b　9. a, b
10. a, b　11. a, b　12. a　13. a, b
14. a, b　15. a, b

第2課 そこで・それで・だから
〈ステップ1〉
1. a, b, c　2. b, c　3. b, c　4. c　5. c
6. c　7. b, c　8. c　9. c　10. b, c
〈ステップ2・3〉
1. c　2. b　3. b　4. a　5. b
6. b　7. c　8. b　9. b　10. a

第3課 そして・それから・それに
1. a　2. a　3. a　4. b　5. b
6. a　7. a　8. b　9. a　10. a

このシリーズの制作にあたって、以下の団体や企業からご協力いただきました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

■助成

（株）講談社（国際交流基金特定助成）

（社）東京倶楽部

■協賛

キングレコード株式会社 / 日本皇声唱片股份公司

漢語話者のためのわかりやすい日本語シリーズ③

類義表現の使い分け

2002 年 7 月発行

発行人　田所宏之

発行所　（財）国際文化フォーラム/ The Japan Forum

〒 163-0726

日本国東京都新宿区西新宿 2-7-1 新宿第一生命ビル 26 階

電話（81）3-5322-5211　FAX（81）3-5322-5215

E-mail : forum@tjf.or.jp　http : //www.tjf.or.jp

表紙デザイン・基本フォーマット　向井裕一

組版　（有）新疆

イラスト　浅山友貴

校正　佐田一郎

© 2002 by The Japan Forum,　Printed in China

本書の無断転載、複製は固くお断りします。

漢語話者のための
わかりやすい日本語シリーズ③

類義表現の使い分け

凡国際文化フォーラム